

# 淀川水系猪名川上流ブロック 河川整備計画(変更原案) についての住民説明会

平成29年3月13日(月) 19時~21時  
能勢町役場 西館3階会議室

山辺川0.3k付近 福井橋から上流を望む



1. 河川整備基本方針・河川整備計画について
2. 大阪府の目標
3. 淀川水系猪名川上流ブロック整備計画（変更原案）
  - 3.1 猪名川上流ブロックの目標
  - 3.2 猪名川上流ブロックで実施する整備
  - 3.3 猪名川上流ブロック全体で実施する対策



# 1. 河川整備基本方針・河川整備計画について

## 河川整備基本方針・計画

### 【河川整備基本方針とは】

○河川整備基本方針とは、将来の川のあるべき姿や河川整備の長期的な基本となる方針（治水・利水・環境）を定めたもの。

### 【河川整備計画とは】

○河川整備基本方針に基づき、概ね20～30年間で計画的に行う河川の整備や管理に関する具体的な目標や内容を定めたもの。

※河川法により、河川管理者は河川整備基本方針・河川整備計画を定めることとされている。

## 2. 大阪府の目標

### 将来目標「大阪府河川整備長期計画 H8.3策定」

○府管理の全河川について、時間雨量 80ミリ程度※<sup>1</sup>の降雨でも、川があふれて、家が流され、人がなくなるようなことをなくす。

※<sup>1</sup> 時間雨量80ミリ程度の降雨は、100年に一度発生する恐れがある降雨

- ・府管理河川全体で、目標達成に約1兆400億円、約50年必要
- ・治水施設で防げない洪水に対する総合的なリスク対策が必要

### 当面の治水目標「今後の治水対策の進め方 H22.6策定」

【基本的な理念】人命を守ることを最優先とする。

【取組み方針】

- (1)現状での河川はん濫・浸水の危険性に対する府民の理解を促進する。
- (2)「逃げる」<sup>に</sup>「凌ぐ」<sup>し</sup>の<sup>ふ</sup>策を強化するとともに、「防ぐ」<sup>せ</sup>策を着実に実施する。
- (3)府民が対策の効果を実感できる期間（概ね30年）で実現可能な対策及び実施後の河川はん濫・浸水の危険性をわかりやすく提示する。

【当面の治水目標（今後20～30年）の設定】

○時間雨量50ミリ程度※<sup>2</sup>の降雨で床下浸水を発生させない。かつ、事業効率等を考慮し時間雨量65ミリ程度※<sup>3</sup>もしくは時間雨量 80ミリ程度の降雨で床上浸水を発生させない。

【河川情報の提供】

○住民が的確に避難行動がとれるよう、河川氾濫や浸水に対する情報提供に努める。

※<sup>2</sup> 時間雨量50ミリ程度の降雨は、10年に一度発生する恐れがある降雨

※<sup>3</sup> 時間雨量65ミリ程度の降雨は、30年に一度発生する恐れがある降雨

# 2. 大阪府の目標

地先の危険度  
低減に向けた

## 総合的・効果的な治水手法の組合せ

### 河川

**治水施設の整備・保全 (防ぐ)** 河川堤防の決壊によるはん濫をできるだけ回避する等、河川を流れる水は可能な限りあふれさせない。(河川改修・堆積土砂除去など)

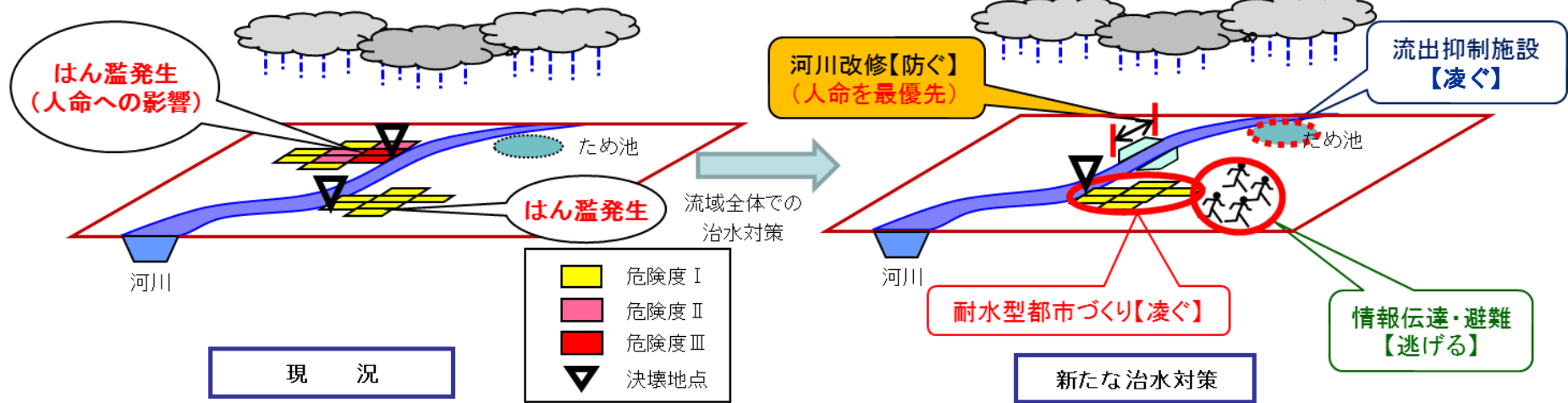
### 流域

**流出抑制 (凌ぐ)** 雨が降っても河川へ出る水量を減らす。(家庭での貯留施設の設置やため池の治水活用等)

**耐水型都市づくり (凌ぐ)** 河川からあふれても被害が最小限となる街をつくる。(家屋の耐水化・高床化などの促進)

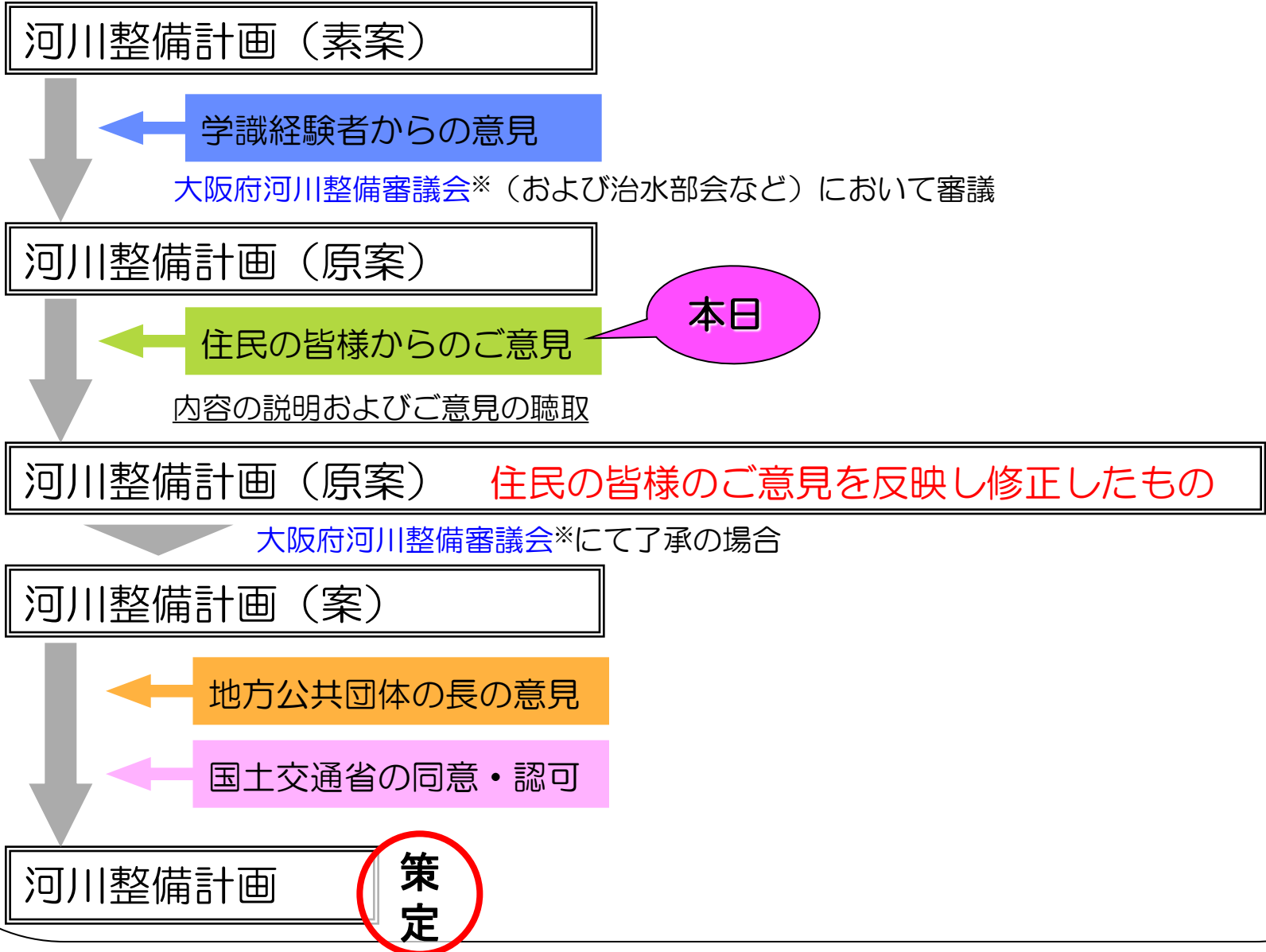
**情報伝達・避難 (逃げる)** 河川からあふれそうなときはできるだけ早く逃げる。(洪水はん濫・浸水による危険性の周知、避難体制づくりの促進等)

< 流域全体での治水対策イメージ >



### 3. 淀川水系猪名川上流ブロック河川整備計画（変更原案）

#### 河川整備計画の策定フロー



※府内河川の整備に関する「河川整備基本方針」及び「河川整備計画」の策定その他に際して、学識経験者等から幅広いご意見をいただくために、「大阪府河川整備審議会」を設置しています。

# 3. 淀川水系猪名川上流ブロック河川整備計画（変更原案）

## 河川整備計画の記載内容

### 第1章 河川整備計画の目標に関する事項

第1節 流域及び河川の概要

第2節 河川整備の現状と課題

第3節 流域の将来像

第4節 河川整備計画の目標

1. 洪水、高潮等による災害の発生の防止または軽減に関する目標
2. 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標
3. 河川環境の整備と保全に関する目標
4. 河川整備計画の計画対象区間
5. 河川整備計画の計画対象期間
6. 本計画の適用

### 第2章 河川整備の実施に関する事項

第1節 河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要

第2節 河川の維持の目的、種類及び施行の場所

### 第3章 その他河川整備を総合的に行うために必要な事項

第1節 地域や関係機関との連携に関する事項

第2節 河川情報の提供に関する事項



# 3.1 猪名川上流ブロックの目標

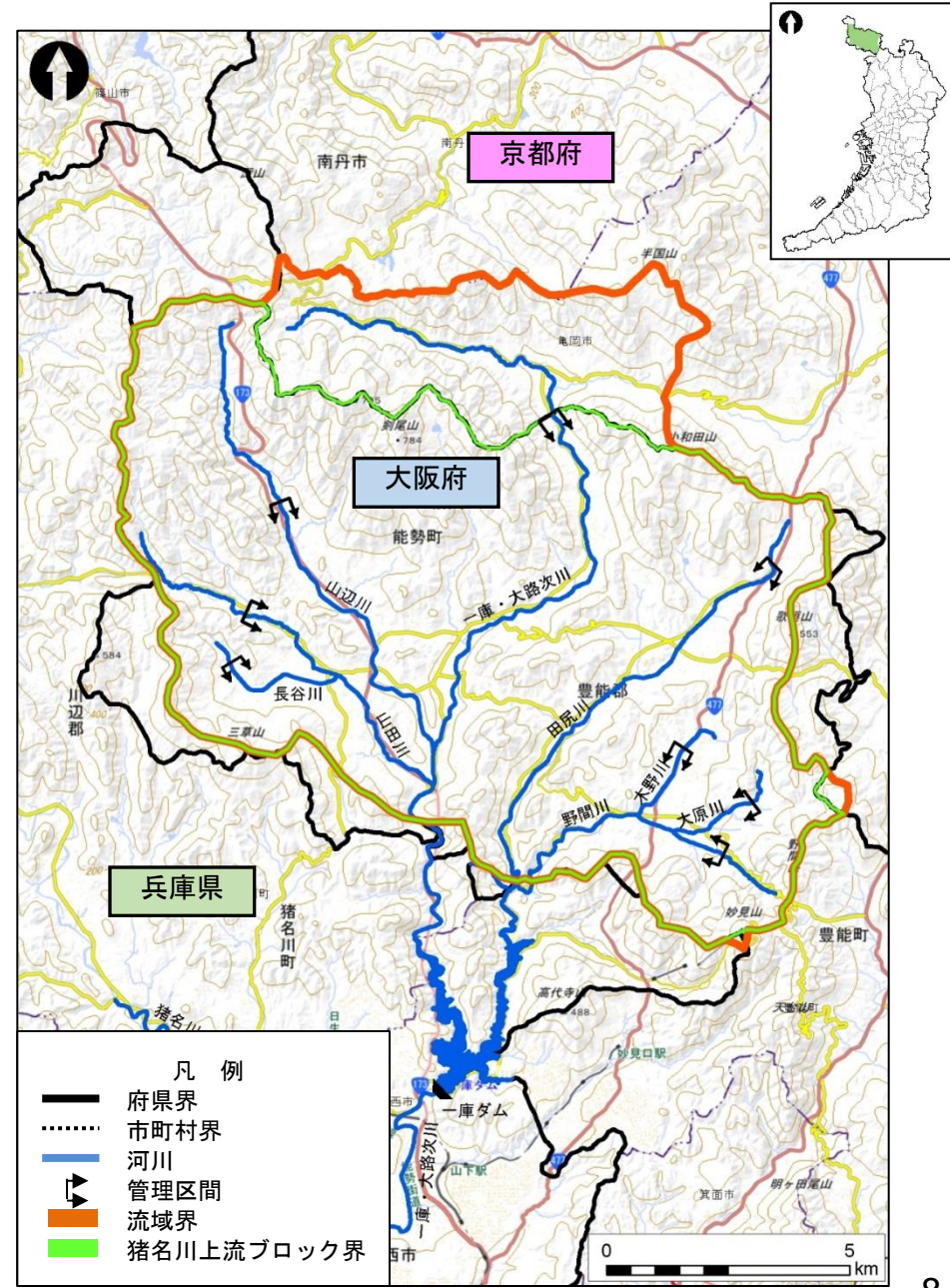
## 流域の概要

淀川水系猪名川上流ブロックの対象河川は、一庫・大路次川、山田川、山辺川、長谷川、田尻川、野間川、木野川、大原川の流域から構成されています。これらの河川は北摂山系にその源を発し、一庫ダム湖である知明湖に注ぎ込んでいます。

流域は、豊能郡能勢町、豊能郡豊能町、京都府亀岡市の1市2町にまたがり、その大部分は、能勢山間盆地群と呼ばれる盆地地帯と北摂山地により構成されています。

流域のほとんどが市街化調整区域で、山林と水田が土地の大半を占め、大阪府の中でも、のどかな農村空間の広がる豊かな自然環境が残された地域です。

河川名	指定区間延長	流域面積
一庫・大路次川	10.4km	63.1km <sup>2</sup>
山田川	4.7km	12.8km <sup>2</sup>
長谷川	2.1km	4.1km <sup>2</sup>
山辺川	5.5km	18.4km <sup>2</sup>
田尻川	8.3km	18.2km <sup>2</sup>
野間川	4.1km	12.9km <sup>2</sup>
木野川	1.8km	3.9km <sup>2</sup>
大原川	1.4km	2.6km <sup>2</sup>





# 3.1 猪名川上流ブロックの目標

## 自然環境の特性

- 気候は、温暖で降水量の少ない瀬戸内式気候に属し、年平均降水量は全国平均と比較して少ない。
- 猪名川上流ブロックは、主に山地を流れており、緑の多い自然空間が形成されているとともに、貴重な魚類や両生類、底生生物が生息、生育している。

- 魚類：アカザ、ミナミメダカなど環境省絶滅危惧Ⅱ類
- 両生類：オオサンショウウオなど環境省絶滅危惧Ⅱ類
- 底生動物：ヒラマキガイモドキ、タバサナエなど環境省準絶滅危惧種



## 3.1 猪名川上流ブロックの目標

### 社会環境の特性

能勢町域は、丹波方面から池田・大阪方面への「能勢街道」と呼ばれる街道筋に当たり、近世中期以降「能勢の妙見さん」として妙見山への参詣路として賑わってきました。そのため、歴史的な文化財が数多く残っています。

能勢町各所には石造美術品が多く、蓮華寺の石造五輪塔等の府指定の文化財があります。その他にも、今養寺の木造千手観音立像等の文化財や、野間の大欅や倉垣天満宮のいちょうといった天然記念物もあります。また、「能勢の浄るり」が江戸時代後期から約200年もの間、町民により語り継がれています。

蓮華寺 石造 五輪塔



野間の大欅



今養寺の木造千手観音立像



能勢の浄るり





# 3.1 猪名川上流ブロックの目標

## 流域の将来像

### 将来ビジョン・大阪

- ・ゲリラ豪雨対策をはじめとする総合的治水対策
- ・水質等良好な環境の創出・維持
- ・河川環境の改善等による水とみどりのネットワークの創造

### みどりの大阪推進計画

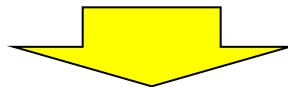
- ・「みどりの風を感じる大阪」を目指して、みどりの連続性を強化し、海～街～山をつなぐ「みどりの軸」を創出する。  
CO<sub>2</sub>の吸収をはじめ、みどりの多様な機能を発揮させる「周辺山系等既存のみどりの保全・再生」  
多様なみどりを増やし、つなぎ、広げる「みどりの量的充足」  
暮らしの豊かさや安全・安心、生物多様性確保等に資する「みどりの質の向上」
- ・広域的なみどりのネットワークを構築し、実感できるみどりづくりを推進する。
- ・河川では持続的かつ多様な河川環境の創出、緑化、景観形成等が求められている。

### 大阪 21世紀の新環境総合計画

- ・「府民がつくる、暮らしやすい環境・エネルギー先進都市」の構築を目指す。
- ・「全てのいのちが共生する社会の構築」に向けて、水辺環境の整備等と連携する。
- ・周辺山系から農空間、都市、沿岸までをつなぐエコロジカルネットワークの形成を進める。
- ・河川は、生物多様性の保全、再生、生息環境を創造する府民活動を行う拠点の一つに位置づけられている。

### 能勢町（第5次総合計画(H24～H32)）

- ・能勢に生き、能勢で暮らし続ける住民のための計画であるという原点を再確認し、一人ひとりの幸せな暮らしを実現する。
- ・利便性を求めがちな現代社会にあっても、真に実感できる豊かさの意味を改めて問い直し、まちづくりの基本的理念として。



猪名川上流ブロックでは、防災、自然環境、景観に配慮した維持管理、整備を行う。また水質の保全、維持に努めるとともに、河川の美化など適切な河川の管理を行う。

# 3.1 猪名川上流ブロックの目標

## 河川利用及び河川環境の現状と課題・目標

	現状と課題	目標
水質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川の水質汚濁に係る環境基準)は、一庫・大路次川、田尻川、山辺川の3河川においてA類型に指定されており、河川の代表的な汚濁指標とされているBOD) (生物化学的酸素要求量) の環境基準は2mg/L以下となっています。</li> <li>・猪名川上流ブロックにおける公共用水域の水質測定地点3か所における平成23年から平成27年度の5年間のBOD75%値は、一庫・大路次川(兵庫県界)で0.6~1.1 mg/L、田尻川(兵庫県界)で0.6~1.2mg/L、山辺川(一庫・大路次川合流直前)で0.6~1.1 mg/Lと、良好な水質で推移しており、いずれの河川においても環境基準を達成しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境基準を満足することはもとより、多様な生物の生息・生育・繁殖環境を保全するため、流域町の環境部局による行政指導や下水道接続を促進し、河川への生活排水の流入の削減に努めます。また、関係機関や地域住民、学校等と連携し、良好な水質の維持に向けた環境学習、啓発活動等を進めます。</li> </ul>
水利用と空間利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・猪名川上流ブロックの河川水は、農業用水として利用されており、一庫・大路次川で11箇所、田尻川13箇所、野間川12箇所、山辺川14箇所、山田川14箇所、長谷川3箇所、大原川で4箇所、合計71箇所の農業用水取水施設があります。</li> <li>・山田川では、道の駅と連携した遊歩道の整備などにより、川沿いを散策する姿も見かけられます。一庫・大路次川や長谷川ではアドプト・リバー・プログラムによる地域住民による美化活動が実施されています。</li> <li>・一庫・大路次川、田尻川、山辺川では、漁業権の設定もされており釣り堀として利用されています。</li> <li>・猪名川上流ブロックでは、豊かな自然環境が形成されており、今後、これらを活かした河川空間の利用について、地域住民等のニーズに応じた取り組みを行う必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川水は農業用水として利用されており、近年において濁水による被害は報告されていませんが、流水の正常な機能の維持については、今後とも適正かつ効率的な水利用を目指します。</li> <li>・地域住民等のニーズに応じて、今後の環境学習等や、アドプト・リバー・プログラム等の活動時における河道内へのアクセスなど河川空間の利用の向上が図れるよう、改善に努めます。</li> </ul>



# 3.1 猪名川上流ブロックの目標

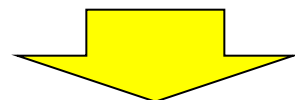
	現状と課題	目標
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境特性の状況をみると、魚類や鳥類等の生物の生息状況のほか、基盤となる植生の分布状況などから、自然環境の良好な山あいの里地に位置します。</li> <li>・川沿いには農地が広がり、植生としては、水田雑草群落が優占しています。隣接する山には、スギ・ヒノキ、サワラなど等の人工林が多くを占める樹林が広がり、里山としてよく管理されています。</li> <li>・キセキレイ、セキレイなど清流に棲む鳥類が確認されており、また、オイカワやカワムツ等の魚類、カスミサンショウウオ等の水生生物、アジイトンボ等の昆虫類など、上流域を特徴づける生物が生息します。</li> <li>・周辺の農地と一体となった動植物の生息・生育環境の保全や、周辺の樹林と一体となった動植物の生息・生育環境の保全を図るとともに、豊かな自然を体験する場としての利用も必要です。</li> <li>・現況の河道には、瀬淵が形成されており、良好な自然環境が形成されています。今後の河川管理の際には、それらの保全について配慮するとともに、堰や落差工について、河川における連続性の確保を検討する必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・瀬や淵、河道内の植生など良好な自然環境が見られる箇所もあり、河川整備にあたっては河床の平坦化を避け、瀬や淵、水際植生など、動植物の生息・生育・繁殖環境の保全・創出に努めます。上下流の連続性の確保については、回遊性生物の生息状況を踏まえ、実現性、必要性、流域町や地域住民の意見等を考慮した上で、総合的に魚道設置等の検討を行います。</li> </ul>
景観・親水性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・猪名川上流ブロックには、「大阪府立北摂自然公園」のうち、「天王地区」「山辺地区」「剣尾山地区」「小和田山地区」の4地区が含まれ、里山の保全が行われています。</li> <li>・大規模な開発がされなかったことから、国の天然記念物に指定されている「野間の大けやき」をはじめ、妙見山のぶな林や倉垣天満宮のいちよう等の府指定の天然記念物も多数存在し、流域内外の人々が訪れる場所となっています。</li> <li>・河道は草本類で覆われており、瀬淵も見られ、水際にはヨシ等の植生がしているなど、自然豊かな景観があり、これらを保全していく必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川整備の際には、これまで同様、河川周辺の土地利用などと調和した河川景観の形成に努めます。</li> </ul>

## 3.1 猪名川上流ブロックの目標

### 治水の現状と課題

#### 近年の被害状況（淀川水系猪名川上流ブロック）

- 平成10年9月 台風7,8号 田尻川歌垣橋下流で堤防が決壊
- 平成16年10月 台風23号 田尻川養鶏場上流で堤防が決壊
- 平成25年9月 台風18号 一庫・大路次川高野橋上流で堤防の被害
- 平成26年8月 台風11号 田尻川歌垣橋下流で農地浸水、府道吉野下田尻線が通行止め



猪名川上流ブロックの一部区間については、時間雨量50ミリ程度の降雨で発生する洪水により、川からの氾濫による、人家への浸水被害が発生する恐れがあることから、さらなる治水安全度の向上が必要です。

また、猪名川上流ブロックの各河川では、土砂の堆積や河床低下、河川管理施設の老朽化等が見られることから、適切な維持管理が必要となります。

さらに、近年の地球規模の気候変動により計画を超える規模の降雨が発生する可能性が高まっていることから、農地の減少に伴う潰廃の可能性があるため池の保全を図るとともに、ため池の雨水貯留機能を活用した流域対策や、洪水が発生した場合に、速やかな避難を実現するための地先における洪水リスク情報の提供、住民主体の防災マップづくりへの支援、降雨や河川水位等の河川情報の提供等の取り組みが必要となっています。



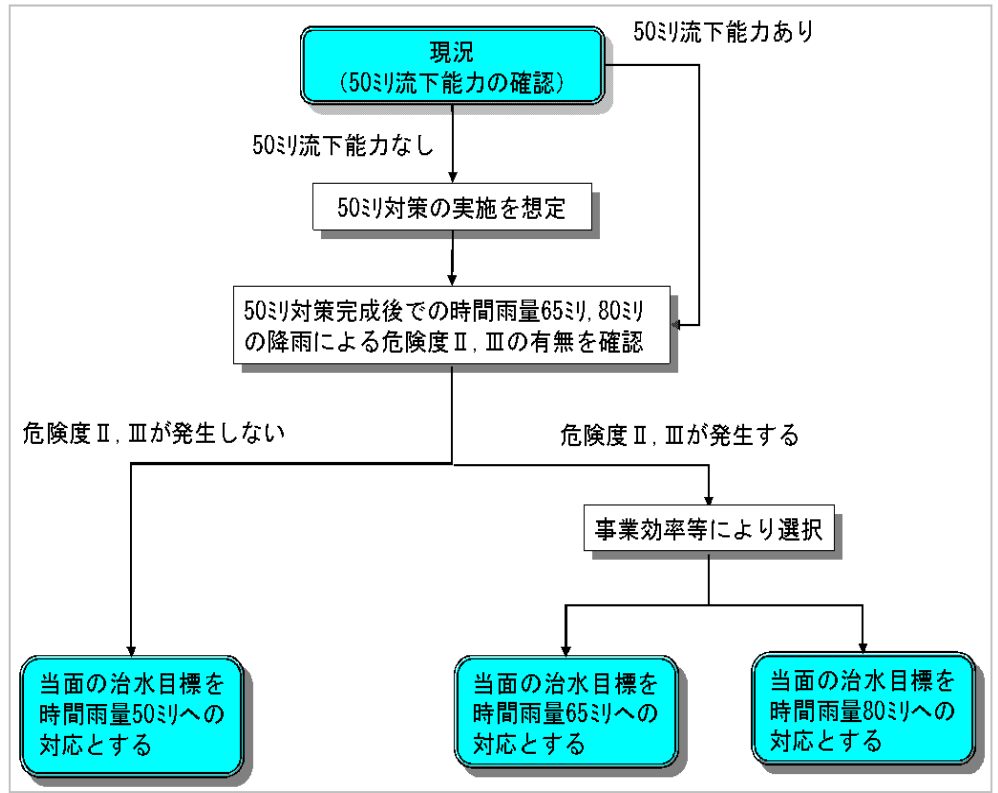
# 3.1 猪名川上流ブロックの目標

## 河川整備計画の目標

大阪府域での今後20～30年程度で目指すべき当面の治水目標を河川毎に設定し、大阪府全域で時間雨量50ミリ程度)の降雨に対して床下浸水を防ぎ得るような河川整備を進めることを基本とします。

その上で、時間雨量65ミリ程度および時間雨量80ミリ程度の降雨で床上浸水以上の被害の恐れがある場合には、事業効率等を考慮して、時間雨量65ミリ程度もしくは80ミリ程度のいずれかの降雨による床上浸水を防ぐことを整備目標として選択しています。

- 一庫・大路次川、山田川、山辺川、田尻川、野間川は、時間雨量65ミリ程度の降雨による洪水で床上浸水を防ぐことを当面の治水目標とします。
- 長谷川は、時間雨量50ミリ程度の降雨による洪水で床下浸水を防ぐことを当面の目標とします。
- 木野川、大原川は、現状において当面の治水目標を達成しています。



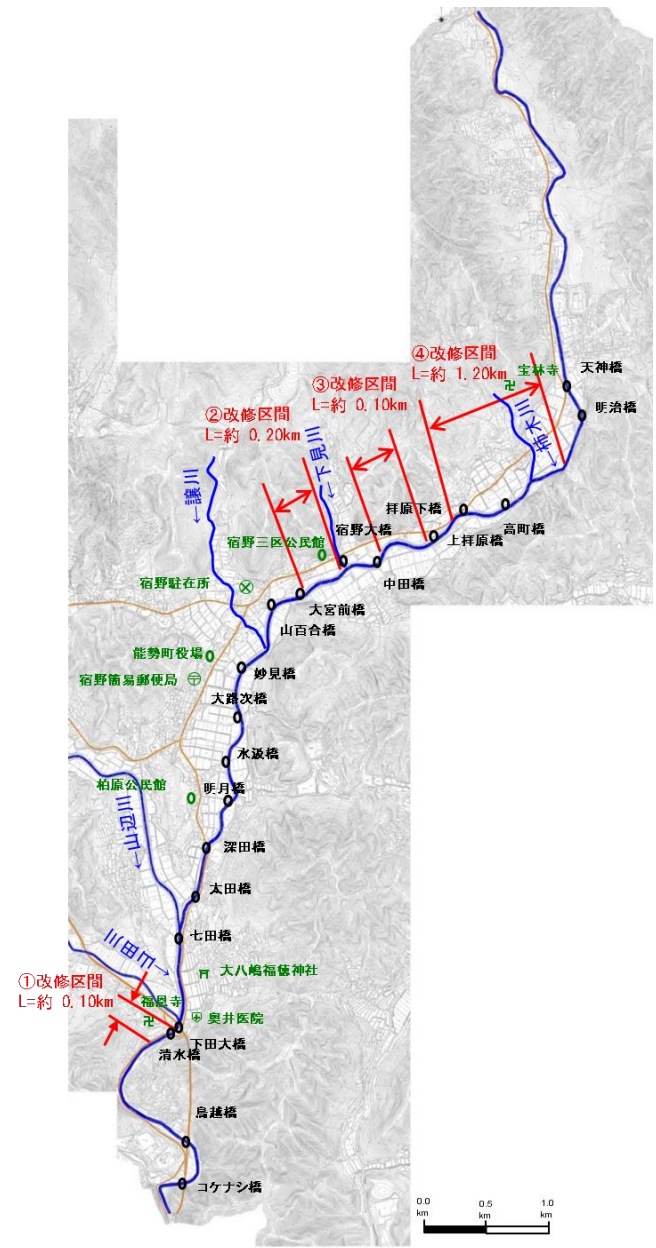
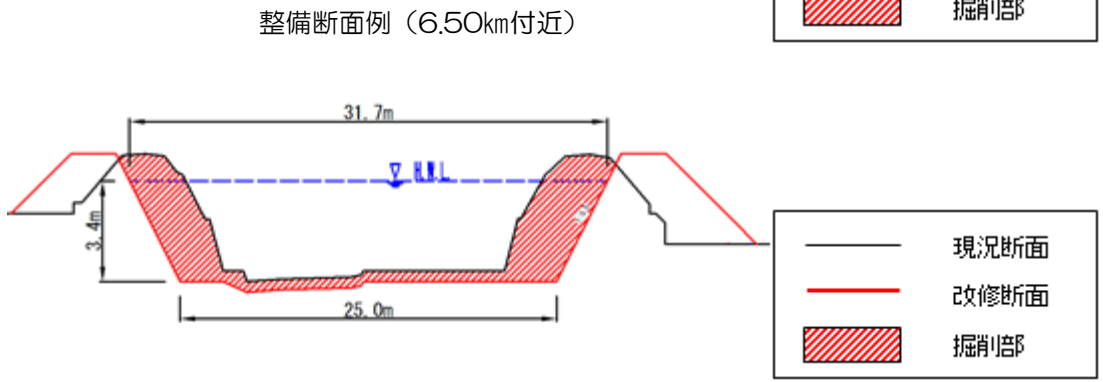
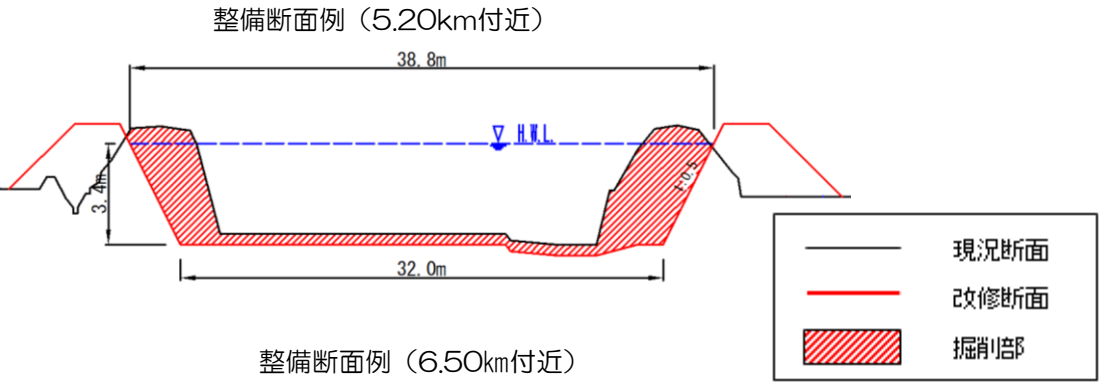
当面の治水目標設定フロー

危険度Ⅰ	想定浸水深が床下浸水程度である 0.5m 未満の箇所
危険度Ⅱ	想定浸水深が床上浸水程度である 0.5m 以上～3.0m 未満の箇所
危険度Ⅲ	想定浸水深が建物の1階相当が水没と思われる 3.0m 以上、 または木造家屋が流出するとされる家屋流出指数が 2.5m <sup>3</sup> /s <sup>2</sup> 以上の箇所

# 3.2 猪名川上流ブロックで実施する整備（一庫・大路次川）

## 洪水対策 整備内容

河川名	整備対象区間	整備内容
一庫・大路次川	①清水橋下流付近～山田川合流付近 (1.70km～1.80km付近)	河道拡幅等により流下能力を確保します。 河道改修の際には、河岸やみお筋の保全、周辺環境との調和に配慮し、上下流の水生物移動の連続性の確保に努めます。
	②大宮前橋上流～下見川合流付近 (5.00km～5.20km)	
	③中田橋上流～拝原下橋下流 (5.70km～5.80km)	
	④上拝原橋～明治橋下流 (6.00km～7.20km)	



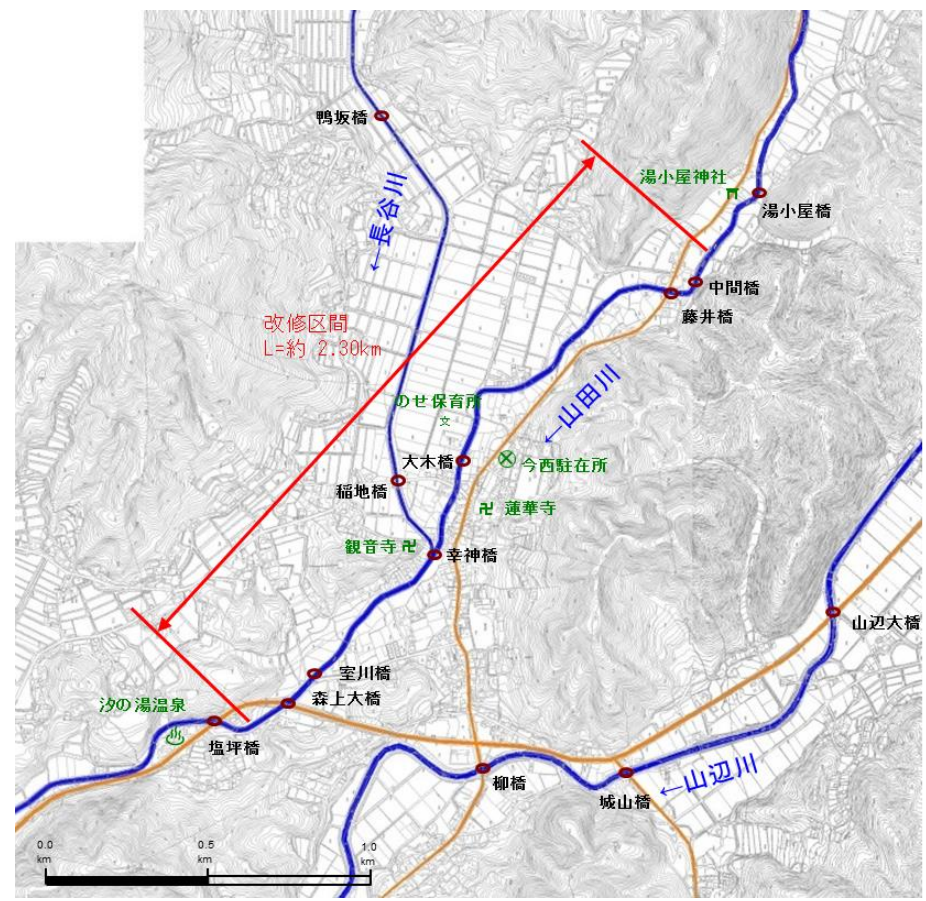
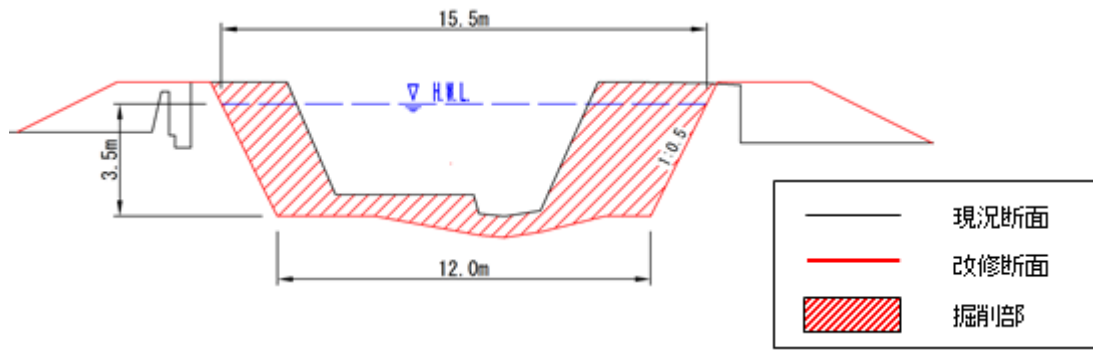
整備対象区間平面図

# 3.2 猪名川上流ブロックで実施する整備（山田川）

## 洪水対策 整備内容

河川名	整備対象区間	整備内容
山田川	塩坪橋上流～中間橋上流付近 (1.90km～4.20km)	河道拡幅等により流下能力を確保します。 河道改修の際には、河岸やみお筋の保全、周辺環境との調和に配慮し、上下流の水生物移動の連続性の確保に努めます。

整備断面例（2.70km付近）



整備対象区間平面図

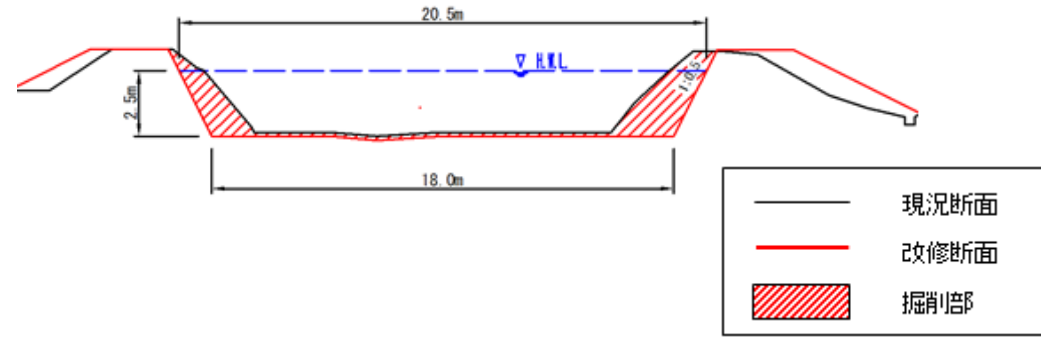


# 3.2 猪名川上流ブロックで実施する整備（山辺川）

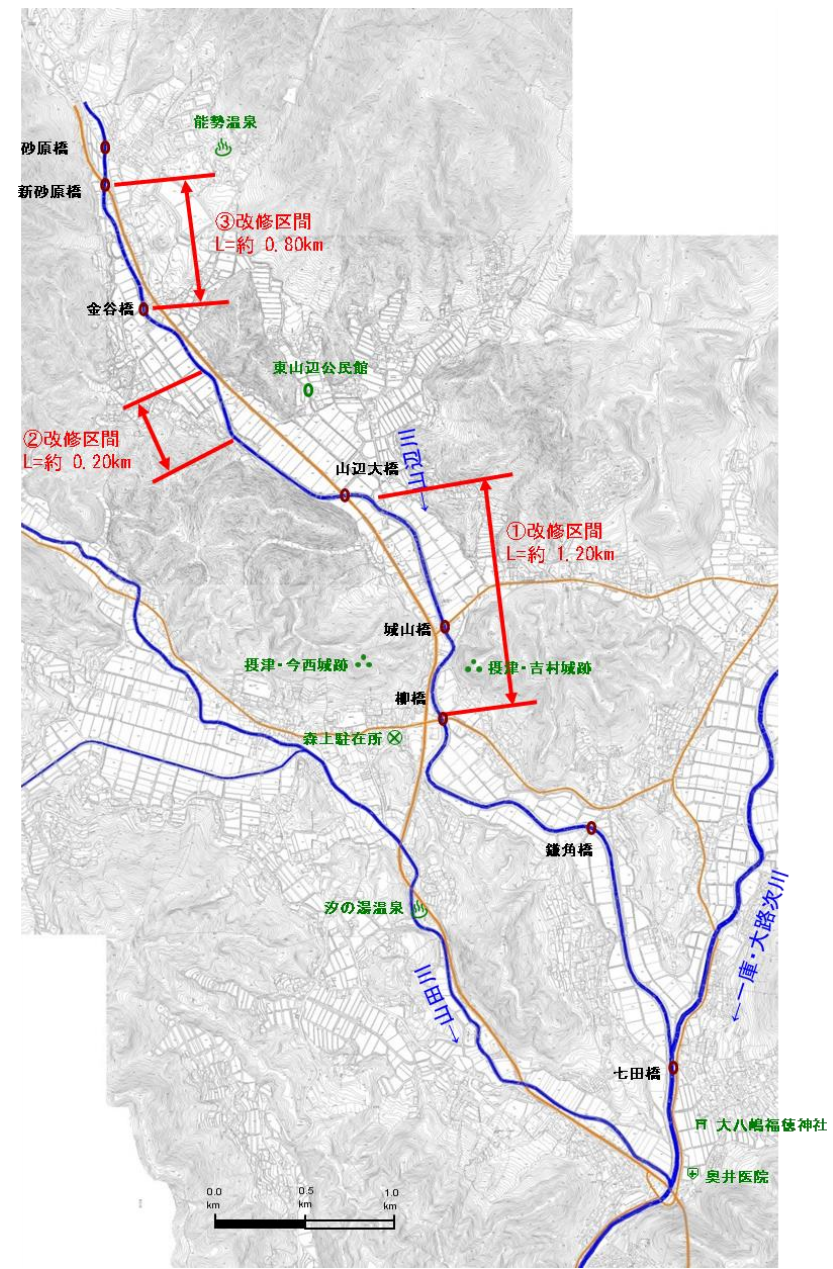
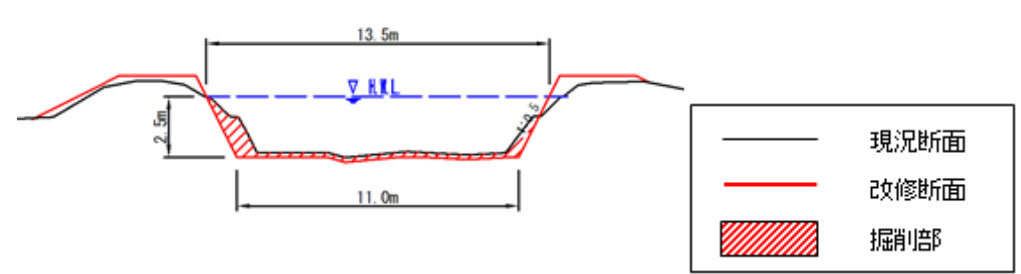
## 洪水対策 整備内容

河川名	整備対象区間	整備内容
山辺川	①柳橋上流～山辺大橋下流 (1.90km～3.10km)	河道拡幅等により流下能力を確保します。 河道改修の際には、河岸やみお筋の保全、周辺環境との調和に配慮し、上下流の水生生物移動の連続性の確保に努めます。
	②無名橋付近～ますつり場付近 (3.90km～4.10km)	
	③金谷橋～新砂原橋 (4.30km～5.10km)	

整備断面例（2.90km付近）



整備断面例（4.30km付近）



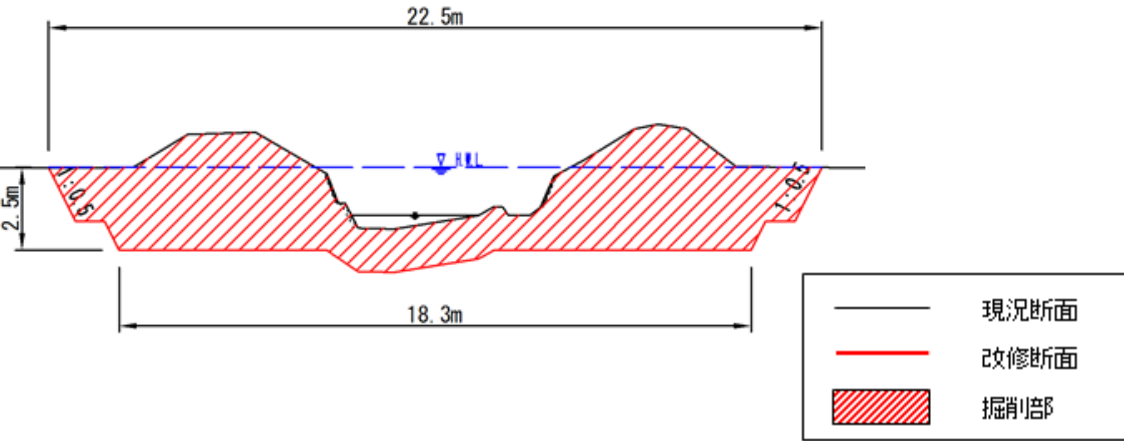
整備対象区間平面図

# 3.2 猪名川上流ブロックで実施する整備（田尻川）

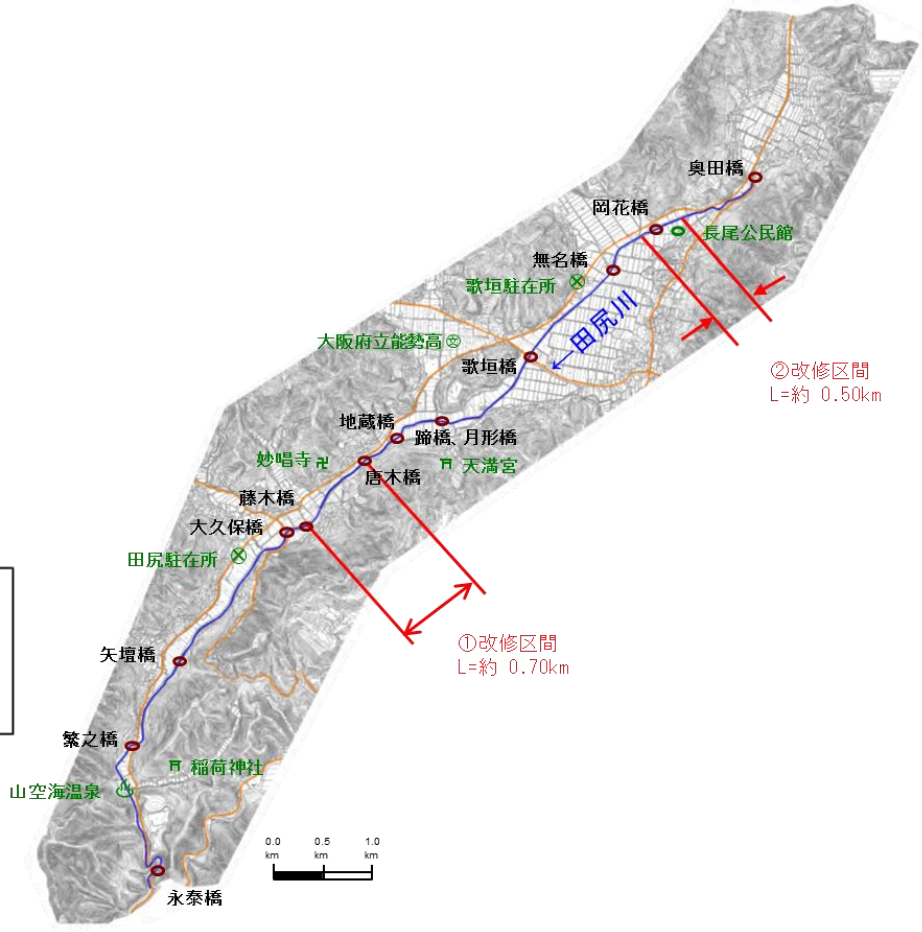
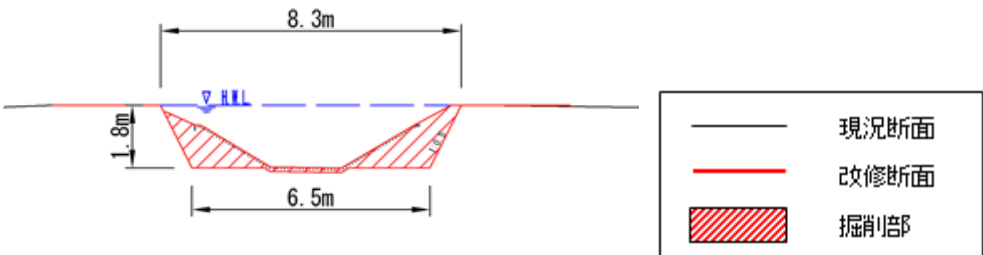
## 洪水対策 整備内容

河川名	整備対象区間	整備内容
田尻川	①藤木橋上流～唐木橋 (3.60km～4.30km)	河道拡幅等により流下能力を確保します。 河道改修の際には、河岸やみお筋の保全、周辺環境との調和に配慮し、上下流の水生生物移動の連続性の確保に努めます。
	②岡花橋付近 (7.00km～7.50km)	

整備断面例（4.10km付近）



整備断面例（7.20km付近）



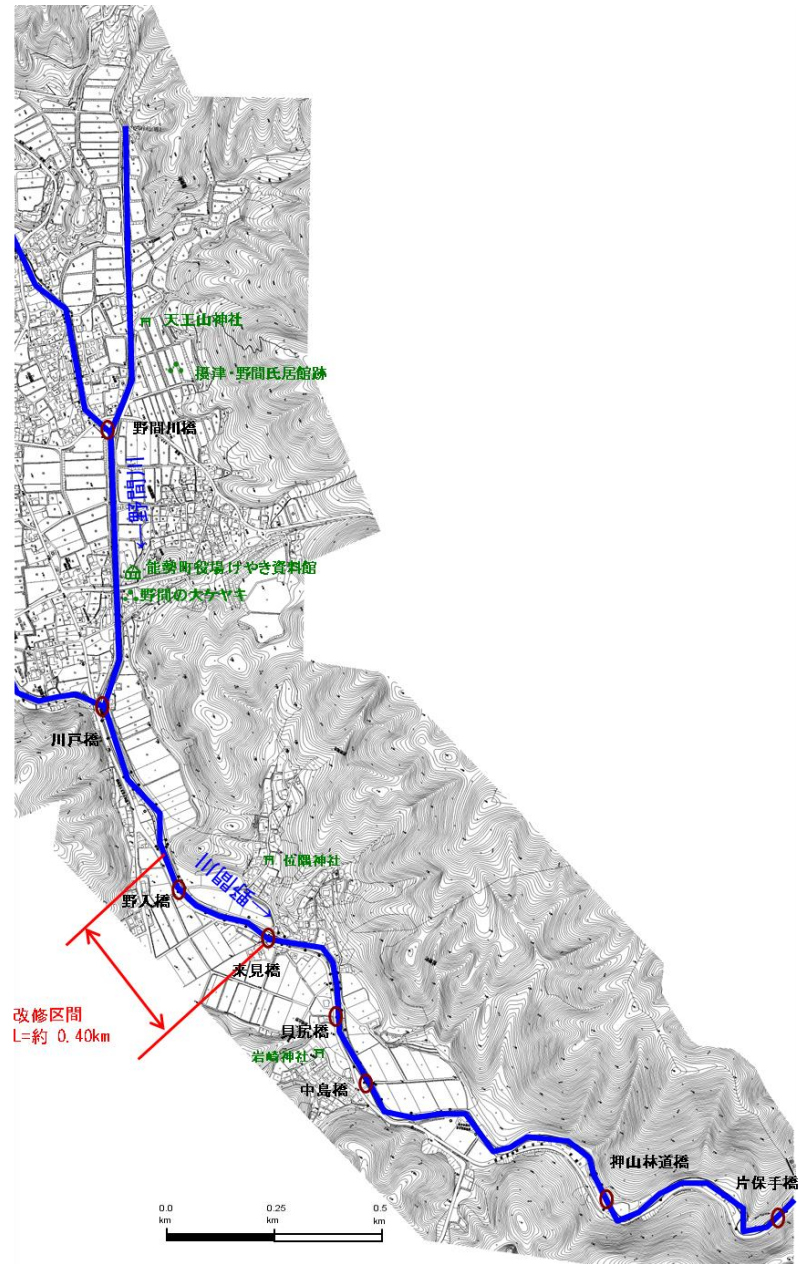
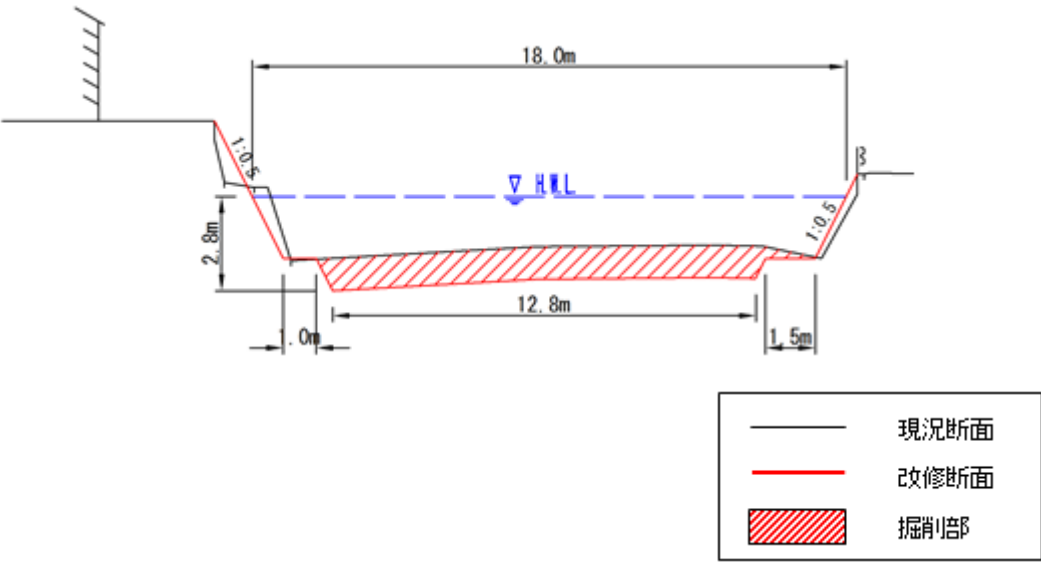
整備対象区間平面図

# 3.2 猪名川上流ブロックで実施する整備（野間川）

## 洪水対策 整備内容

河川名	整備対象区間	整備内容
野間川	来見橋上流～野入橋 (1.80k～2.20k)	河床掘削等により流下能力を確保します。 河道改修の際には、河岸やみお筋の保全、周辺環境との調和に配慮し、上下流の水生生物移動の連続性の確保に努めます。

整備断面例（1.90km付近）



整備対象区間平面図

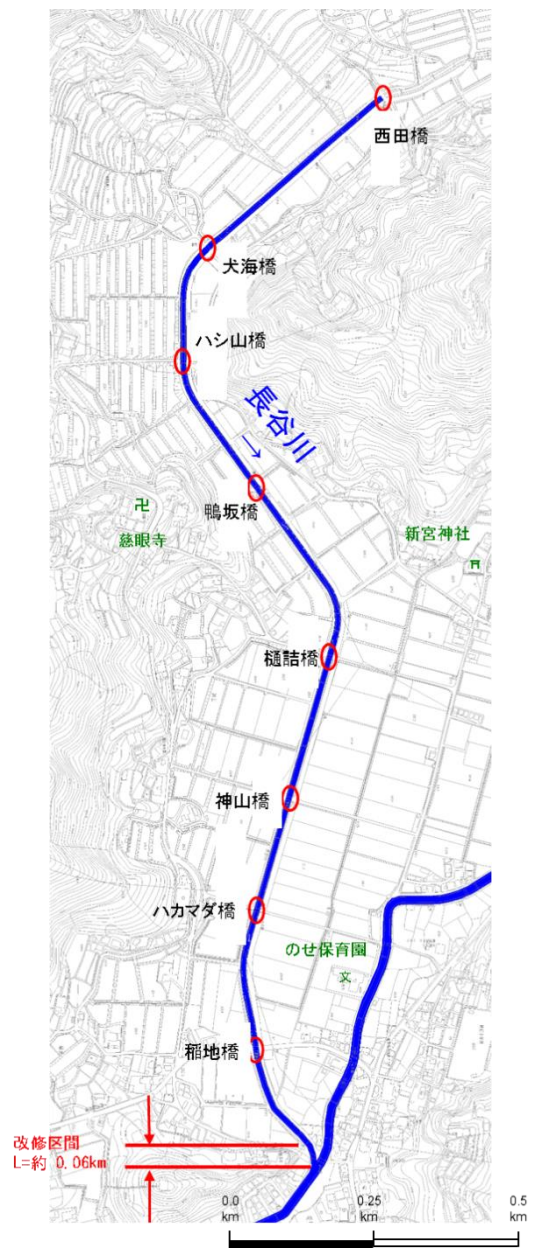
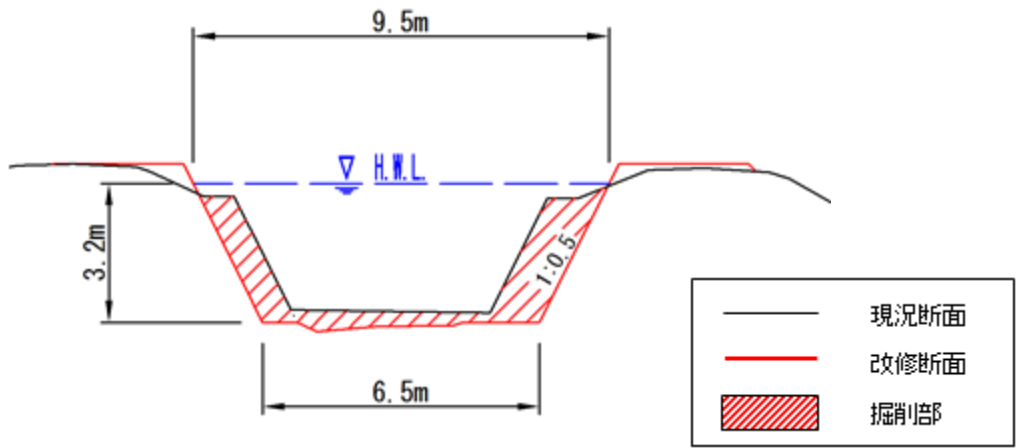


# 3.2 猪名川上流ブロックで実施する整備（長谷川）

## 洪水対策 整備内容

河川名	整備対象区間	整備内容
長谷川	山田川合流点付近 (0.045km~0.10km)	河道拡幅等により流下能力を確保します。 河道改修の際には、河岸やみお筋の保全、周辺環境との調和に配慮し、上下流の水生物移動の連続性の確保に努めます。

整備断面例（0.10km付近）



整備対象区間平面図

### 河川環境の整備と保全

流域がもつ、歴史・文化・景観や自然環境に配慮し、生物の生息・生育・繁殖環境、景観等の保全、水質の維持に努めます。

#### ①水質

流域市町による行政指導や下水道接続の促進、河川への生活排水の流入削減  
関係機関や流域住民、学校、NPO等と連携し、環境学習や啓発活動

#### ②空間利用

地域住民の利用ニーズを踏まえ、河道内へのアクセスの改善など

#### ③自然環境

河床の平坦化を避け、瀬や淵、水際植生など生物の生息・生育・繁殖環境の保全・創出  
回遊性生物の生息状況を踏まえ、総合的に魚道設置等の検討

#### ④景観

川の周辺も含めた空間を考え、景観に配慮した材料を採用するなど

### 河川の維持管理

- 施設の定期点検や必要に応じた緊急点検を実施し、構造物の損傷、劣化状況の把握
- 人命を守ることを最優先に、危険度の高い箇所から計画的に補修
- 許可工作物の管理者に対しても、適切に点検を実施し、維持修繕を行うよう周知徹底
- 河川の土砂堆積、植生の繁茂及び河床低下については、その状況を定期的に調査し、計画的な維持管理、対策を実施
- 被災した際には、二次災害を防止するために応急的な対策を行い、出水後速やかに機能回復
- 河川区域で違法に行われている耕作、工作物の設置等を監視・是正するため、定期的に河川巡視、地域や関係機関との連携により、監視体制を重層化
- 不法投棄等のゴミに対して、河川巡視等において適宜回収、市町と連携した河川巡視、地域住民、ボランティア団体、自治体等と協働で定期的な河川美化活動



河川管理施設の点検



# 3.3 猪名川上流ブロック全体で実施する対策

## 地域や関係機関との連携

「防ぐ」

- 河川愛護活動への支援（地域住民、NPO）
- 地域住民やNPO団体と河川環境の保全・再生・美化活動など連携した維持管理の実施

「凌ぐ」

- ため池の雨水貯留機能の保全（ため池管理者や関係団体）
- 道路、公園、学校グラウンド等を利用した雨水貯留施設の設置（施設管理者）
- 住宅等の開発行為に伴う調整池の恒久化（開発事業者）
- 農地・森林の保全（水源涵養、保水機能）
- 各戸貯留施設の設置（地域住民への啓発活動）
- 建物の耐水化、土地利用の誘導（河川氾濫時、流水時）

「逃げる」

- 情報提供（地域住民 豊能町、能勢町）



河川愛護活動への支援



美化活動等と連携した維持管理

## 3.3 猪名川上流ブロック全体で実施する対策

### 河川情報の提供

- 河川氾濫・浸水に関する情報については、住民が的確に避難行動をとれるよう、豊能町、能勢町と連携した情報提供の実施
- 情報提供にあたっては、行政からの一方的なものにとどまらず、過去の浸水被害の情報等の聞き取りなどを行い、地域特性に応じた情報の双方向伝達システムの構築に努める。
  - ① 現状の河川氾濫・浸水による危険性の周知
  - ② 必要な情報の提供及び伝達
  - ③ 住民の防災意識の醸成

### 具体的な取り組み

- ①洪水リスク表示図の公表、ワークショップによる周知等を踏まえた避難体制づくり
- ②ホームページ等での情報提供、河川カメラの設置検討、地上波デジタル放送の活用
- ③計画を超える規模の地震津波災害に対する住民の安全な避難行動や地域防災活動を支援

# 3.3 猪名川上流ブロック全体で実施する対策

## 1) 洪水はん濫・浸水の危険性の周知

- 現況での洪水はん濫・浸水の危険性に対する地域住民の理解を促進するため、猪名川上流ブロックでは洪水リスク表示図を開示しています。
- この表示図では、現況の河道で時間雨量50ミリ程度（約1/10）、時間雨量65ミリ程度（約1/30）、時間雨量80ミリ程度（約1/100）、時間雨量90ミリ程度（約1/200）降雨時の4パターンのはん濫解析結果を危険度（3段階）、最大浸水深（7段階）の2パターンで表示します。

### 洪水リスク表示図

皆さんがお住まいの町役場、池田土木事務所などで閲覧できます。

【大阪府 洪水リスク表示図】 <http://www.river.pref.osaka.jp/>

大阪府 洪水リスク表示図

- 10年に一度の降雨
- 30年に一度の降雨
- 100年に一度の降雨
- 200年に一度の降雨

現状河川改修後

- 現在の洪水リスク
- 河川改修後の洪水リスク

地図表示情報

- 背景に地形図を表示
- 背景に航空写真を表示

行政界

府管理河川

主要道路及び鉄道(駅)

市役所等

破堤地点

溢水地点

水位、雨量、ライブカメラ映像

解析結果

- 危険度
- 浸水深

凡例

河川一覧

すべての河川

一帯・大路上川

田尻川

山田川

長谷川

山辺川

「危険度」とは  
地先の危険度を示すもので以下の基準で評価しています。

床上浸水程度(0.5m未満)

凡例

- 破堤地点
- 溢水地点
- 雨水型整備区間
- 水位計
- 雨量計
- ライブカメラ

危険度

- 危険度I
- 危険度II
- 危険度III

この地図は、国土地理院長の承認を得て、「国発発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(複製番号:平25情第95号)また、同発発行の数値地図25000(空間データ)を使用した。(複製番号:平25情第95号)

以下の国土交通省の国土数値情報を利用しています。  
行政区域/河川/鉄道/公共施設

「雨水型整備区間」とは  
人命を守ることを最優先とした柔軟な整備(部分的改修・流出抑制)など、あらゆる手段を組み合わせ、効果的かつ効率的な浸水リスクの低減に取り組む区間。

整備手法が決まっている区間については、「河川改修後の洪水リスク」は「現在の洪水リスク」と同じものを表示しています。整備手法が決まらず次第、「河川改修後の洪水リスク」を更新していきます。



各土木事務所での洪水リスク表示図の開示状況

地先における河川氾濫や浸水の可能性を確認できます。





# 3.3 猪名川上流ブロック全体で実施する対策

## 2) 大阪府などによる情報提供

- 大阪府では、河川のはん濫や浸水に対して、流域関係市町と連携し、府民が的確に避難行動を取れるよう情報提供をしていきます。

### 防災情報

#### 【気象庁】(出典:気象庁ホームページより)

<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

#### 【国土交通省 防災情報提供センター】

<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>

#### <携帯サイト>

<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>

#### 【大阪府河川室 河川防災情報】

<http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/>

#### 【大阪府河川室 画像公開システム】

<http://www.osaka-pref-rivercam.info/>

大阪府の管理河川に設置されたカメラ画像を提供しています。

#### 【おおさか防災ネット】

<http://www.osaka-bousai.net/pref/index.html>

緊急情報、避難勧告・指示、地震津波情報などを提供しています。

防災情報を携帯電話で入手できます。下のQRコードを携帯電話で読み込むか、下記アドレスを入力し、空メールを送信してください。

#### 川の防災情報

雨雲の動きや全国の川の水位などの情報を携帯電話で入手できます。  
<http://i.river.go.jp/>  
直接アクセスしてください。



#### 大阪府河川情報

身近な河川の水位や雨量の情報を携帯電話で入手できます。  
<http://www.cds.osaka-bousai.net/suibou/mobile/index.html>  
直接アクセスしてください。



#### 防災情報メール

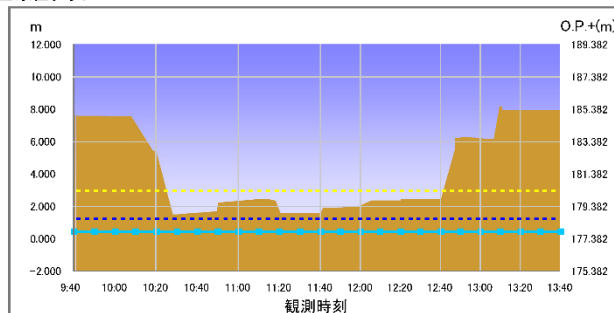
地域に発令された警報・注意報、避難勧告など、防災情報をメールで携帯にお知らせします。  
[touroku@osaka-bousai.net](mailto:touroku@osaka-bousai.net)



緊急情報、避難勧告・指示、地震津波情報などを提供しています。

池田土木事務所 一庫大路次川 清水橋						
能勢町平通						
O.P.+(m) (大阪府最低潮位)						
現在水位 (m)	堤防までの高さ(m)	水防団待機水位 (通報水位)(m)	はん濫注意水位 (警戒水位)(m)	避難判断水位 (特別警戒水位)(m)	はん濫危険水位 (危険水位)(m)	嵩水標等標高 (O.P.+(m))
0.480	5.756	1.250	3.000	---	---	177.382

#### ■水位グラフ



#### ■水位一覧表

日時	2/3 9:50	2/3 10:00	2/3 10:10	2/3 10:20	2/3 10:30	2/3 10:40	2/3 10:50	2/3 11:00
水位(m)	0.480	0.480	0.480	0.480	0.480	0.480	0.480	0.480
水位(O.P.+(m))	177.882	177.882	177.882	177.882	177.882	177.882	177.882	177.882
水位変化(m)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

淀川水系猪名川上流ブロック流域の雨量、流域内主要河川の水位状況などを確認できます。

# 3.1 猪名川上流ブロックの目標

河川の特性（整備対象河川のみ）



# 3.1 淀川水系猪名川上流ブロックの目標

## 河川の特徴

### 一庫・大路次川

一庫・大路次川の川幅は15m~35mで、河床勾配は1/25~1/250となっており、沿川の一部には民家が連続している所もありますが、全体的には水田が多く、田園風景の中を緩やかに蛇行しながら流れています。河道は、ほとんどの区間において、ブロック積護岸で整備していますが、草本類で覆われており人工的なイメージは少なく、河床について一も、堆積土砂などにより平常時は自然な川の流が形成されており、瀬淵なども見られます。水際にはヨシ等の植生が見られ、自然豊かな景観が見られます。



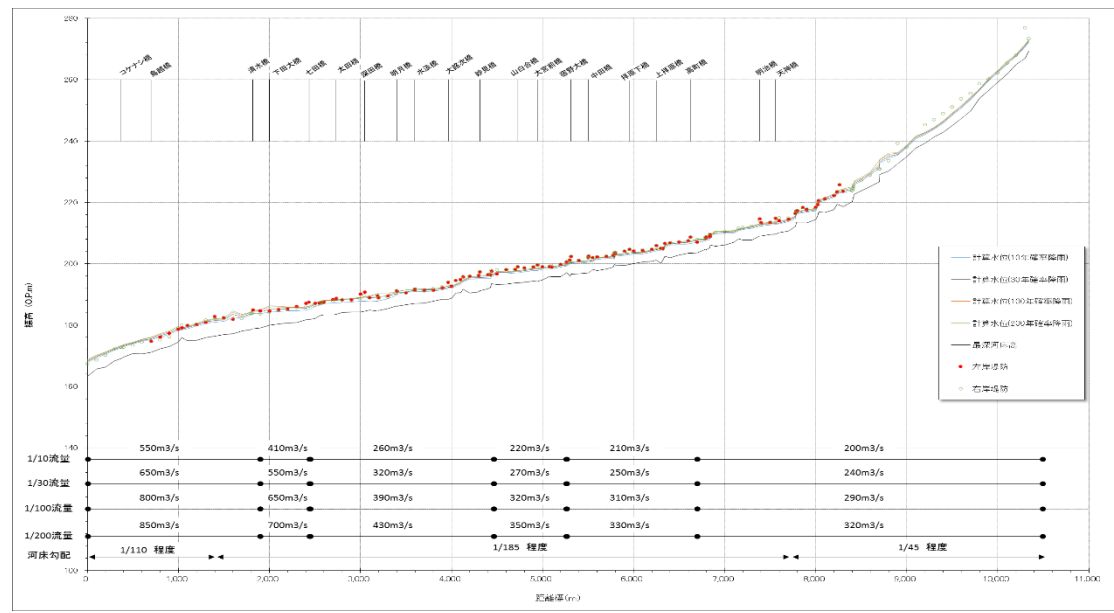
下流部 (1.0k付近)



中流部 (宿野大橋付近)



上流部 (上拝原橋付近)



# 3.1 淀川水系猪名川上流ブロックの目標

## 河川の特性

### 山田川

山田川は、一庫・大路次川の支川で、流域面積13.8 km<sup>2</sup>、流路延長4.7km となっています。流域の大部分は、能勢山間盆地群と呼ばれる盆地地帯と北摂山地により構成されています。流域のほとんどが市街化調整区域で、山林と水田が土地の大半を占め、大阪府の中でも、のどかな農村空間の広がる豊かな自然環境が残された地域の一つです。



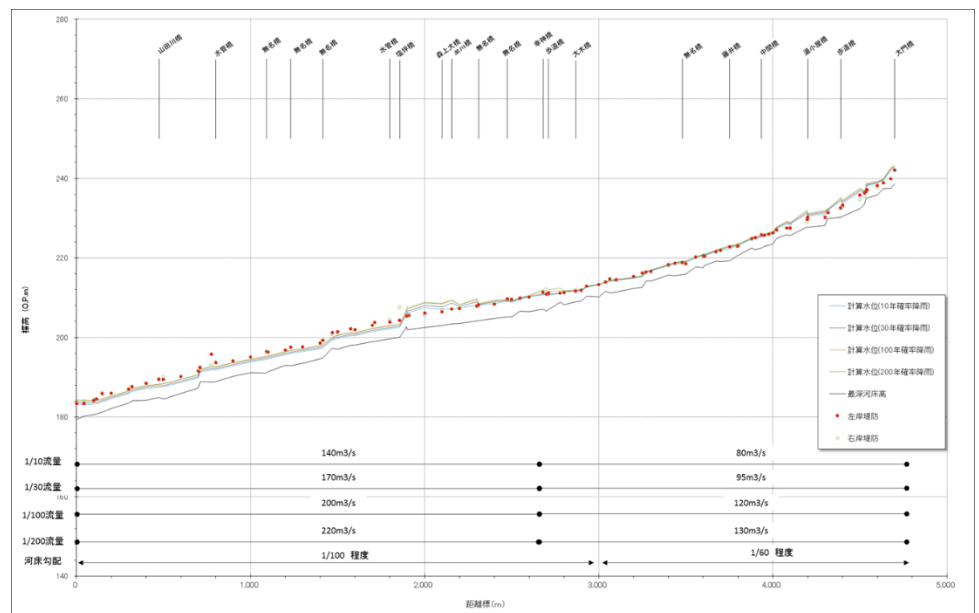
下流部(山田川橋付近)



中流部(塩平橋付近)



上流部(中間橋付近)



# 3.1 淀川水系猪名川上流ブロックの目標

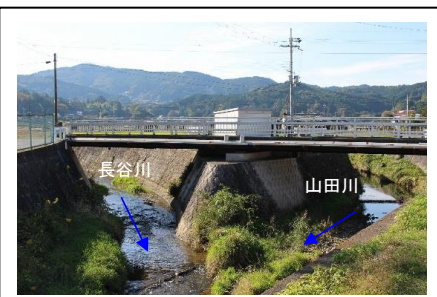
## 河川の特性

### 長谷川

長谷川は、水源を能勢町長谷に発する流域面積4.08km<sup>2</sup>の小河川で、長谷・垂水・神山・稲地・地区を流下し、山田川に流入する一級河川です。

流域の現況は、上流部丘陵地約 3.28km<sup>2</sup>下流部は、田畑約 0.8km<sup>2</sup>で都市計画法上、無指定区域で、当面市街化される事はなく、農村統合整備モデル事業実施地区に指定されており、近く、耕地整理が、予定されています。

現在の改修状況は、上流・中流部は、未改修で下流部約1kmが両護岸空積にて築堤済です。しかし、処々河積が小さく又蛇行箇所が多く、昭和50年・51年と災害が発生しています。



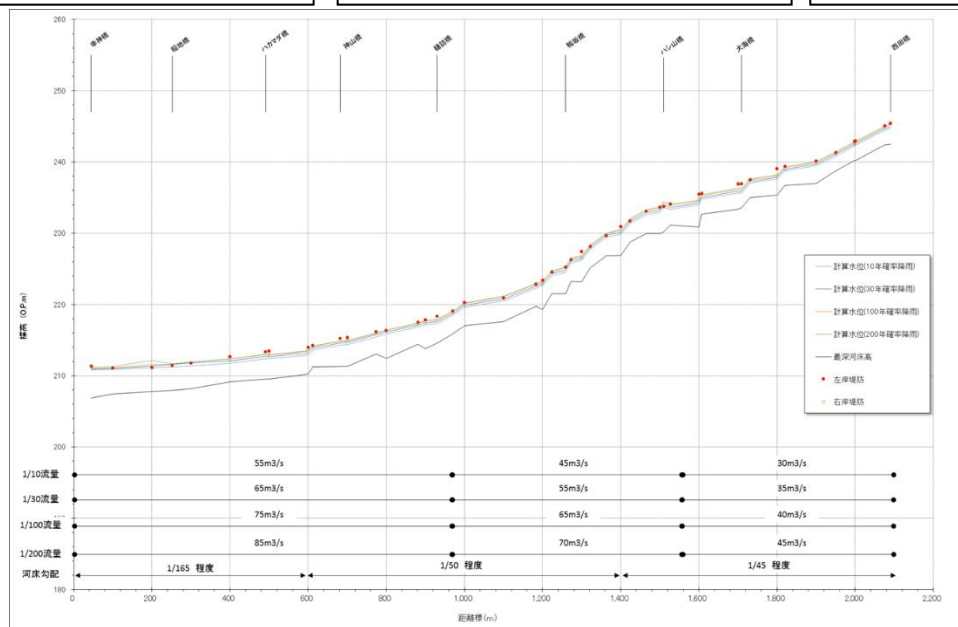
下流部(山田川合流点付近)



中流部(稲地橋付近)



上流部(西田橋付近)





# 3.1 淀川水系猪名川上流ブロックの目標

## 河川の特徴

### 山辺川

山辺川は、一庫・大路次川の支川で、流域面積18.4 km<sup>2</sup>、流路延長5.5km となっています。流域の大部分は、能勢山間盆地群と呼ばれる盆地地帯と北摂山地により構成されています。流域のほとんどが市街化調整区域で、山林と水田が土地の大半を占め、大阪府の中でも、のどかな農村空間の広がる豊かな自然環境が残された地域の一つです。



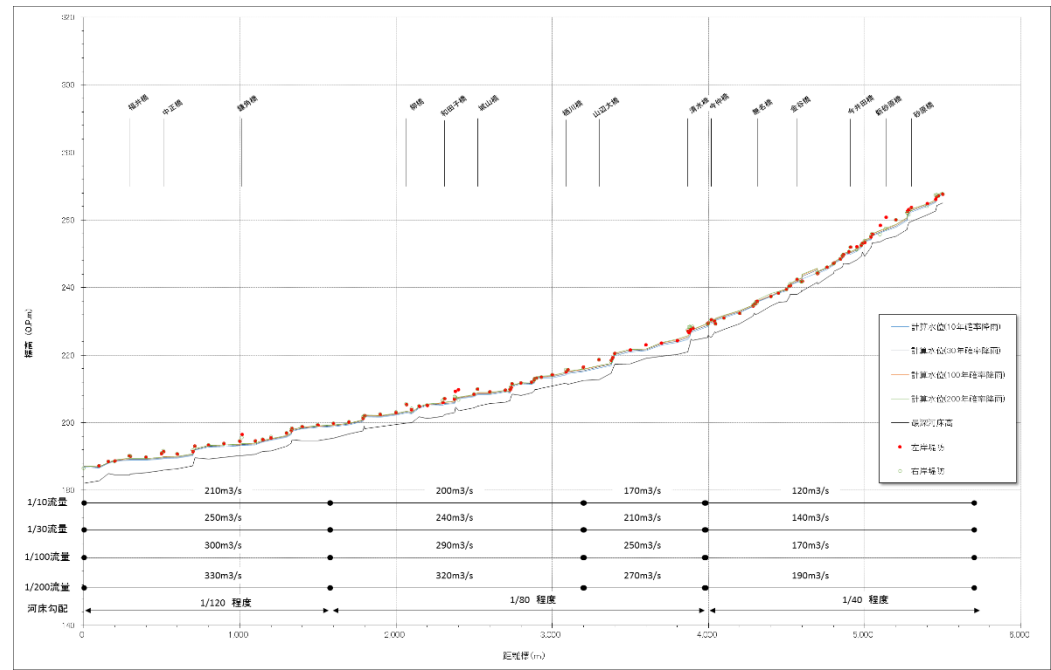
下流部(福井橋付近)



中流部(柳橋付近)



上流部(砂原橋付近)



# 3.1 淀川水系猪名川上流ブロックの目標

## 河川の特徴

### 田尻川

田尻川の川幅は10m~27mであり、河床勾配は1/60~1/360となっており、一部の区間を除きほとんどが未改修となっています。沿川は水田利用が多く民家は点在している程度であるため、全川的にのどかな田園風景となっています。又、河道については、河川改修により一部直線的な形状となっていますが、改修されている大田橋付近においては、階段護岸を設置するなど親水性に配慮しており、川に容易に近づくことができます。河道内には、瀬淵が形成されていることや水際にはヨシ等の植生も多数見られることから、豊かな自然景観となっています。



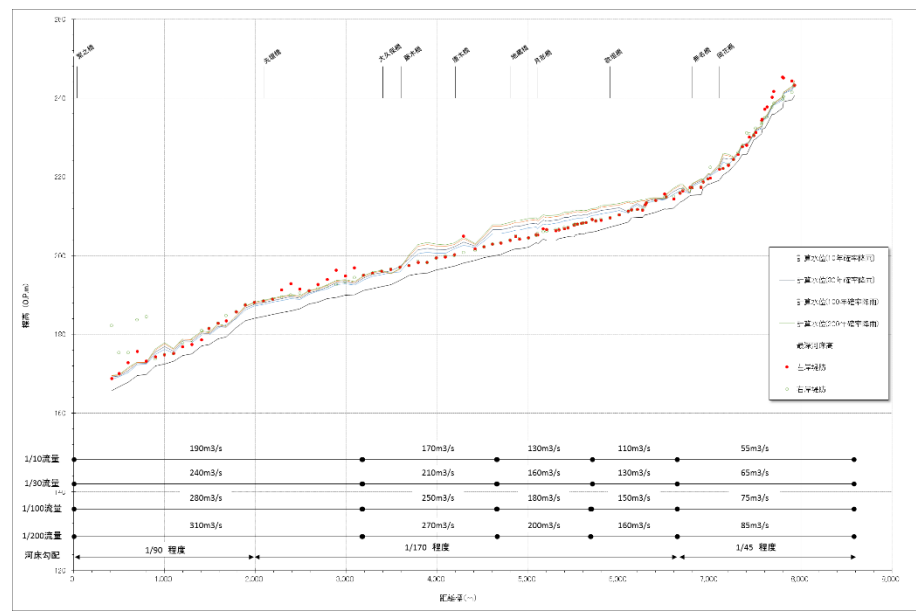
中流部(藤木橋付近)



中流部(歌垣橋付近)



上流部(岡花橋付近)



# 3.1 淀川水系猪名川上流ブロックの目標

## 河川の特徴

### 野間川

野間川の川幅は15m~20mであり、河床勾配は1/40~1/360となっており、沿川は田尻川と同様に水田利用が多く全川的にのどかな田園風景が広がっています。河道については、石積護岸やブロック積護岸等で整備していますが、改修後かなりの年月が過ぎており、護岸の老朽化が目立ちます。護岸は草本類で覆われ、文水際にはヨシ等の植生も多数見られることから、人工的イメージは少なくなっています。野間川においても、一庫・大路次川同様に堆積土砂が多く、夏から秋にかけては、河道一面にヨシが繁茂し、水面がほとんど見えなくなることもあります。また、農業用水の取水のため、落差工が多数設置されており、ブロック内の他河川に比べ瀬淵の形成は比較的少なく、部分的には人工的な印象を受けるところもあります。



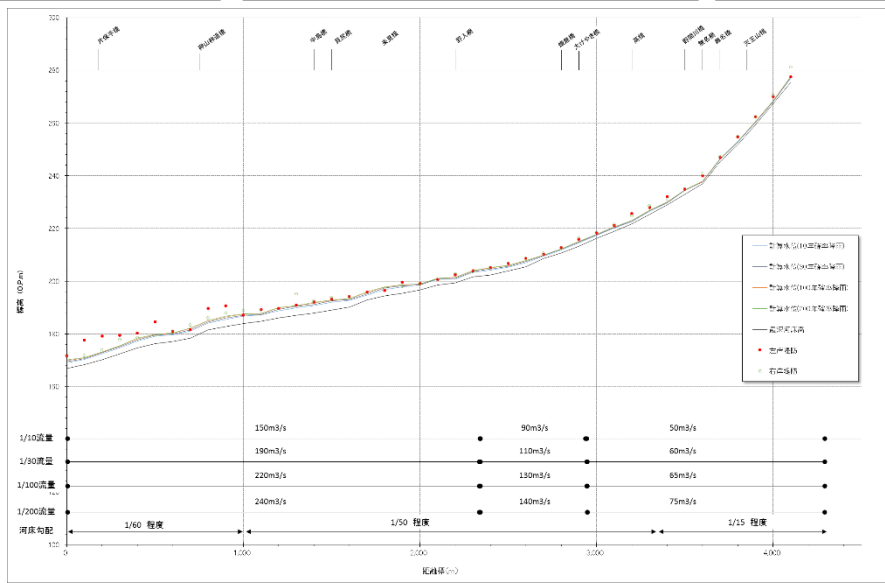
下流部(0.70k付近)



中流部(中島橋付近)



上流部(高橋付近)





# 3.1 猪名川上流ブロックの目標

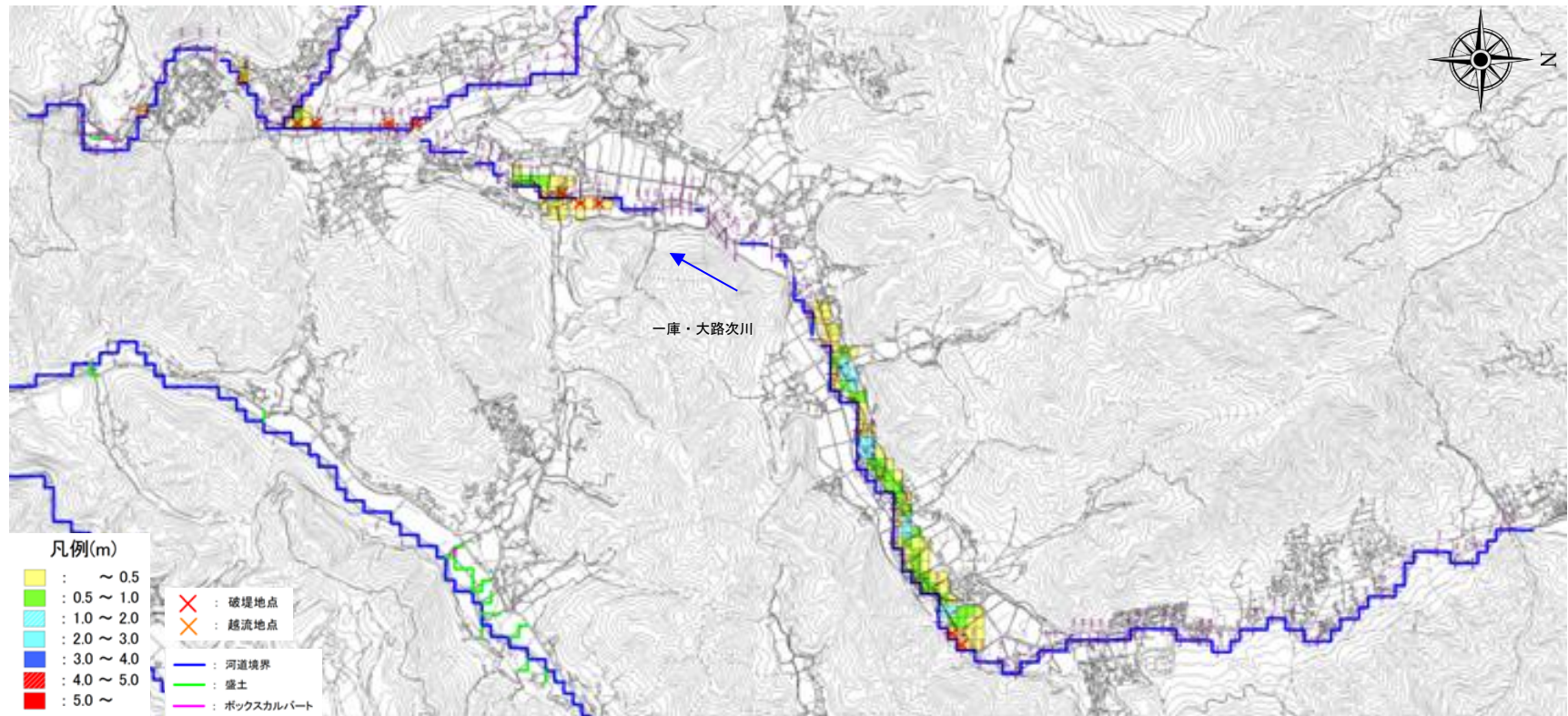
氾濫想定（整備対象河川のみ）

# 3.1 淀川水系猪名川上流ブロックの目標

## 一庫・大路次川 氾濫想定

現状の淀川水系猪名川上流ブロックで時間雨量50ミリ程度の雨が降った場合

- 一庫・大路次川では、時間雨量50ミリ程度の降雨で床上浸水が発生する。



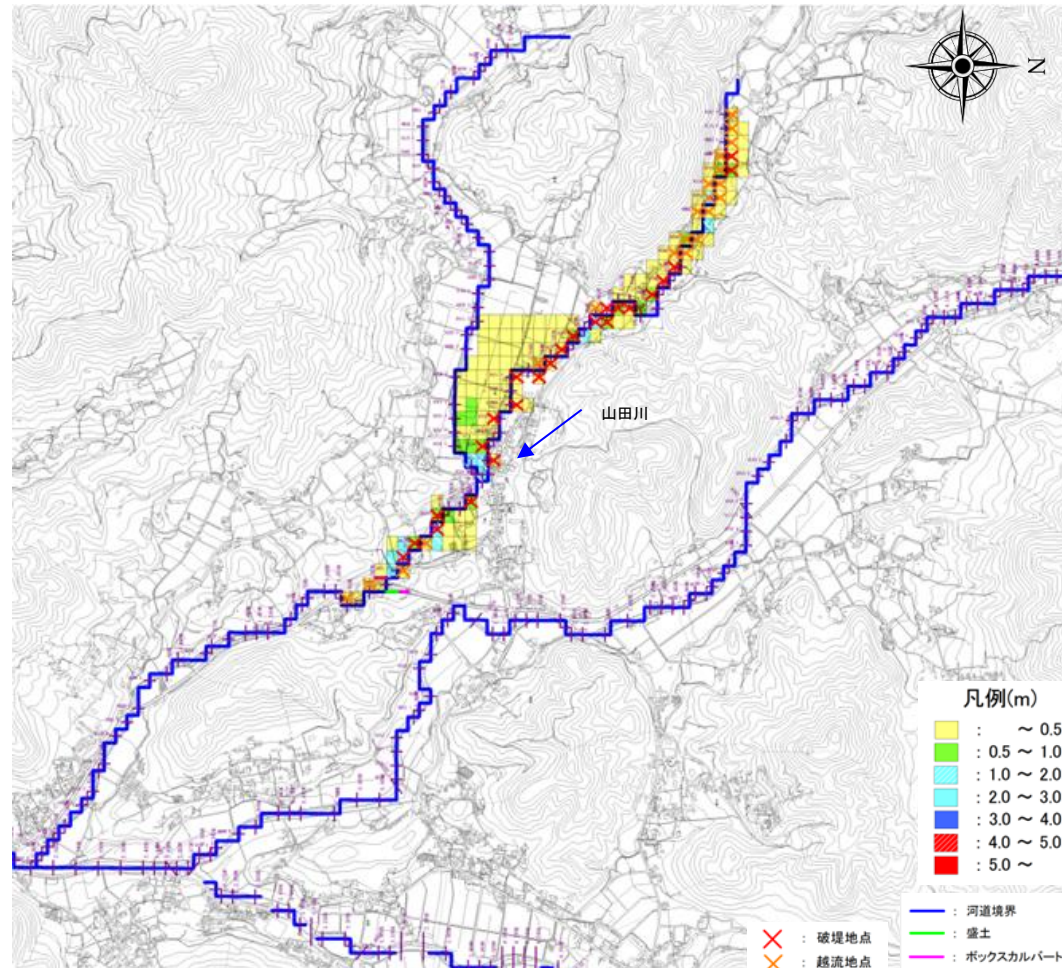
※被害最大となる破堤地点での破堤を想定(1洪水)

# 3.1 淀川水系猪名川上流ブロックの目標

## 山田川 氾濫想定

現状の淀川水系猪名川上流ブロックで時間雨量50ミリ程度の雨が降った場合

- 山田川では、時間雨量50ミリ程度の降雨で床上浸水が発生する。



※被害最大となる破堤地点での破堤を想定(1洪水)

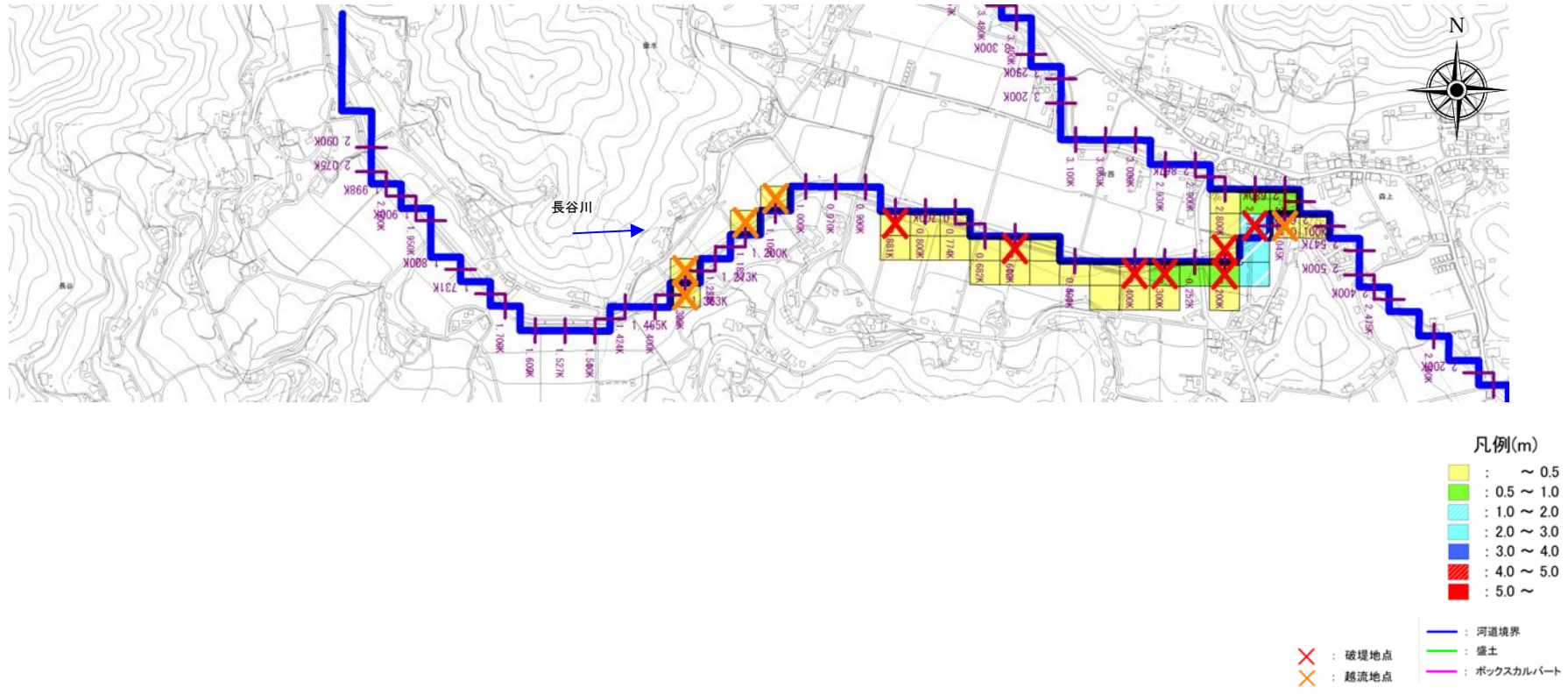


# 3.1 淀川水系猪名川上流ブロックの目標

## 長谷川 氾濫想定

現状の淀川水系猪名川上流ブロックで時間雨量50ミリ程度の雨が降った場合

- 長谷川では、時間雨量50ミリ程度の降雨で床上浸水が発生する。



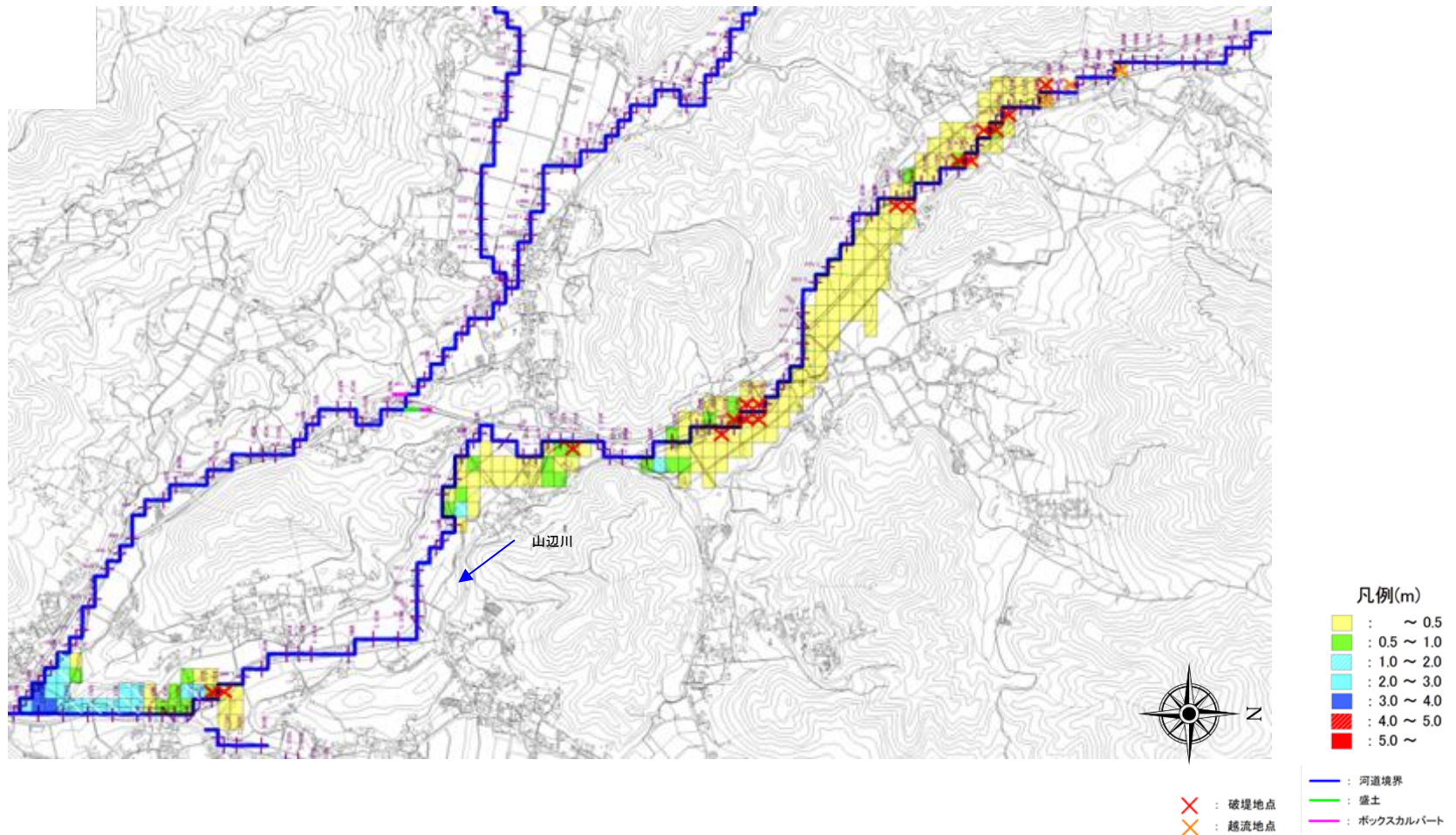
※被害最大となる破堤地点での破堤を想定(1洪水)

# 3.1 淀川水系猪名川上流ブロックの目標

## 山辺川 氾濫想定

現状の淀川水系猪名川上流ブロックで時間雨量50ミリ程度の雨が降った場合

- 山辺川では、時間雨量50ミリ程度の降雨で床上浸水が発生する。



※被害最大となる破堤地点での破堤を想定(1洪水)

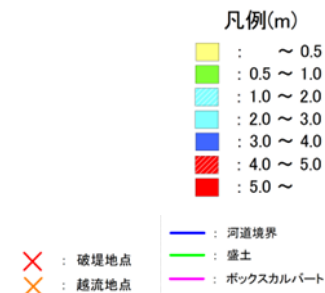
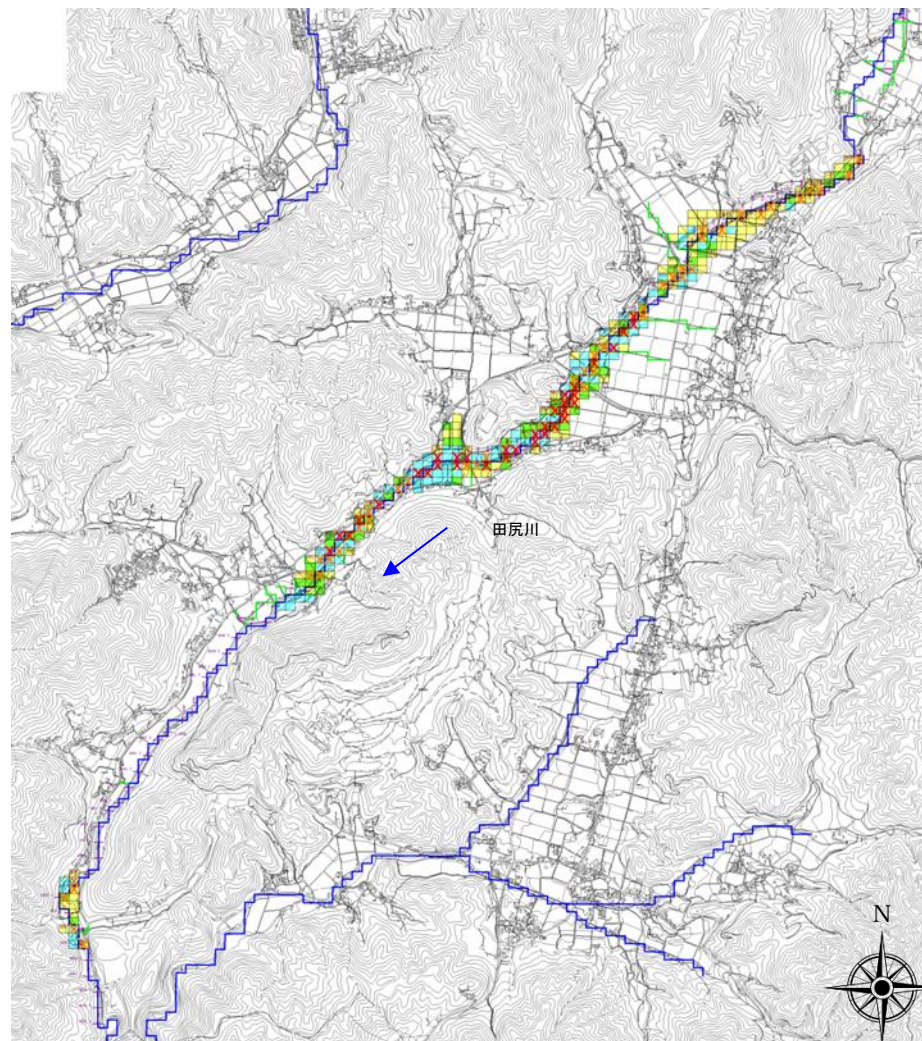


# 3.1 淀川水系猪名川上流ブロックの目標

## 田尻川 氾濫想定

現状の淀川水系猪名川上流ブロックで時間雨量50ミリ程度の雨が降った場合

- 田尻川では、時間雨量50ミリ程度の降雨で床上浸水が発生する。



※被害最大となる破堤地点での破堤を想定(1洪水)

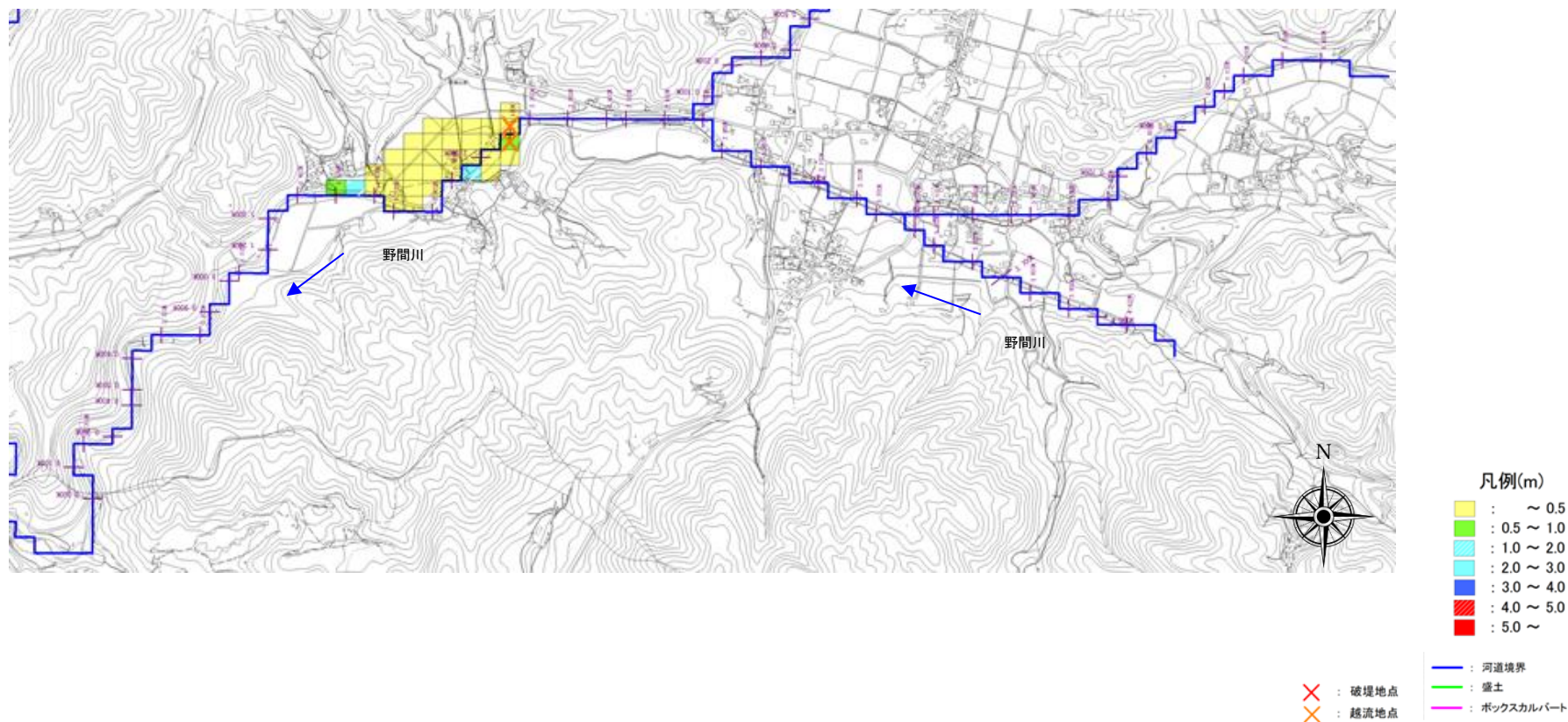


# 3.1 淀川水系猪名川上流ブロックの目標

## 野間川 氾濫想定

現状の淀川水系猪名川上流ブロックで時間雨量50ミリ程度の雨が降った場合

- 野間川では、時間雨量50ミリ程度の降雨で床上浸水が発生する。



※被害最大となる破堤地点での破堤を想定(1洪水)